4K HDR 8K IP
Photron
www.photron-digix.jp/

映像新聞

令和３年（2021年）　１月４日　第２４６２号

株式会社 映像新聞社
Weekly THE EIZOSHIMBUN
(VISUAL COMMUNICATIONS JOURNAL)
〒112-0006　東京都文京区小日向1丁目24番8号エイゾービル
電話：(03)3942-2161(代)／ファクス：(03)3942-2581
昭和42年1月25日　第3種郵便物認可　郵便振替：00140-0-65786
1部600円、年間購読料26,000円(税別)
©映像新聞社
毎週月曜日発行(月4回発行)

テレビ大進撃

配信で広告ビジネスに本腰

ローカル局にも新展開

ネット動画配信が勢いづく中で、放送局に反転攻勢のエネルギーが満ちてきた。コロナ禍で広告費が大きな影響を受ける中、在京民放キー局のネット展開への意欲は一気に向上。見逃し配信の民放共通プラットフォームであるＴＶｅｒを核に、視聴データを活用した新たなビジネス展開が本格化しようとしている。一方で注目されるのがローカル局の動き。地域の放送局が、系列を超えて一体となった同時配信が実現しようとしている。日々深まる逆境が映像コンテンツの王者の生存本能を呼び覚ました。新たな日常を背景に、テレビの大進撃がスタートする。

コロナに翻弄された昨年、多くの産業が影響を受けたが、それは放送局も例外ではない。特に民放は広告費への影響が大きく、過去にない厳しさに直面している。しかしそれが、局内の危機意識を高め、同時配信を含めた本格的なネットビジネス展開への移行を加速させようとしている。

テレビ放送の同時配信は、先行するＮＨＫの常時同時配信・見逃し配信サービス「ＮＨＫプラス」の利用登録申請数が累計１００万件を超え、新たなテレビの視聴環境構築に貢献。民放では日本テレビ放送網が10―12月の３カ月間、プライムタイム（午後７―同11時）を中心とした番組の同時配信トライアルをＴＶｅｒで実施。アクセス件数は想定した規模ではなかったものの、さまざまな知見を得ている。

こうした中、民放キー局が、まずはＴＶｅｒで広告収益をあげる取り組みを本格化する。視聴データを最大限に活用できる運用型広告プラットフォーム「ＴＶｅｒ広告」の提供を開始。放送コンテンツのみに広告配信することでの広告毀損リスクの低さ、視聴データを使った高精度のターゲティングなどが特徴だ。

同時配信については、春以降、日テレに続く動きが出てくるだろう。

鍵になるのがやはりＴＶｅｒ。同サービスは、地上波の番組を見逃した視聴者が地上波に戻ることを企図したキャッチアップサービスとして始まっているが、実は、テレビ番組をスマホだけで見る人とテレビだけで見る人は顕著に分かれることが分かっている。

となれば、同時配信を実施することは、そもそもテレビを見ない層にリーチできることになり、視聴者との接触面の拡大につながる。広告営業の観点からも同時配信は、大きな可能性を持つ。

同時配信のネックとなっている権利処理についても、総務省・文化庁が制度改正のイメージをまとめ、制度設計・法案概要を作成。今年の通常国会での法案成立を目指すことになっている。

一方で注目されるのがローカル局の動きだ。キー局にもまして厳しい経営環境にあるローカル局だが、同時配信で画期的な取り組みが始まろうとしている。それは、ある県内の全民放が系列を超えて連携し、同時配信に挑むものだ。

視聴者の趣味嗜好に応じたターゲティングによるＣＭ差し替えとともに、全国で視聴できるエリア外配信も実施。全国の視聴者に対応するため、ＣＭの商品をＥＣで購入できるようにする。単にリーチだけでなく、購入につなげ、客単価を上げることが狙いで、ローカル番組が新たな価値とビジネスチャンスを獲得することになる。

この取り組みがローカル局の新たな一歩になることは間違いない。

今後、追随する動きが各地に広がっていけば、ネットにおける放送コンテンツの存在感は飛躍的に高まる。そこから生まれるビジネスと競争は、放送産業に次の黄金期をもたらすだろう。

各系列が同時配信で連携

ターゲティングCM実現

ネット中継を得意としているPANDASTUDIO.TV（パンダスタジオTV）では、コロナ禍においてライブ配信などの依頼が増加しているという。併せて映像関連事業の拡大を図っている（写真はパンダスタジオ秋葉原）

〈詳細15面〉

2021年新年特集号

本号の主な記事

2021年の業界展望 ....2-7、11-13
新春記者座談会/地上波テレビの課題 9
［プロダクション］デジタル・ガーデン、メディア・ガーデン、TTR、ルーデンスの４社が合併/新会社が4日から営業を開始 15
映像・情報通信関連の主要年間行事一覧 20-22

映像新聞ウェブサイト
http://www.eizoshimbun.com
購読のお申し込みはこちらから

衛星中継車設計・製作・AV機器・無線局免許・車検登録まで１社で完結
エーティコミュニケーションズ・ハイエースパック

エーティコミュニケーションズ・ハイエースパックは弊社の標準設計をご採用いただく事により価格を大幅に抑える事を可能にしたハイエース中継車提案プランです。ラック＆機材レイアウトはお客様のご要望で製作いたします。
＜基本パッケージ内容＞
■トヨタハイエースベース　■1.2m衛星アンテナ　■悪路・段差用足回強化
■6名定員■6KVANMG発電機搭載■7m油圧ポール搭載■ジャッキ搭載
■快適オペレーションルーム（ミーティングテーブル停車時）■助手席・作業テーブル付（停車時）■広々とした荷室確保　■サイドオーニング搭載
エーティコミュニケーションズ株式会社
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14
TEL:03-5772-9125　http://www.bizsat.jp
AT Communications k.k.

インテル® Xeon® プロセッサーを2基搭載
高性能ワークステーションモデル

Windows 10 Pro for Workstations 64ビット
インテル® Xeon® Silver 4216 プロセッサー（2基）
512GB M.2 SSD（NVMe 対応）
32GB メモリ ECC Registered対応
Quadro RTX™ 8000（48GB）
1000W 電源（80PLUS® PLATINUM）
DVD スーパーマルチドライブ
1年間無償ピックアップ保証 24時間365日電話サポート

MousePro W996DQR8 1,348,000円（税別）
※送料別途　※画像はイメージです

期待を超える３つのポイント
Made in Japan
Just for You
Full Support
✚MouseProなら▶1年間無償ピックアップ修理保証 標準付属

株式会社マウスコンピューター
〒103-6026 東京都中央区日本橋2-7-1
東京日本橋タワー26階
ご購入・カスタマイズのご相談はこちらまで
法人のお客様 03-6833-1041
月～金 9時～12時 13時～17時
土日祝 9時～20時
返品について 納品日から8日以内に当社所定の申し出を行い、製品外観および性能が出荷前と同等の状態であることを確認した場合のみ返品可能です。ただし、返品には当社規定の返品手数料を申し受けます。また、製品を返送いただく際の送料はお客様のご負担となります。

未来への基盤固める年に

地デジ4K化

全国4都市で伝送実験が本格化

4K8Kを含めた地上デジタル放送の高度化も粛々と進んでいる。2003年に東名阪でスタートした地デジは20年近い歴史をきざんでいる。現在の新4K8K衛星放送の方式はもとより、進化を続けるネット動画配信の方式に比べ、見劣りするのは否めない。

民放の経営環境が厳しさを増す中で、地デジ高度化への関心は高くはないが、その取り組みは、放送の未来にとって必須といえるだろう。

地デジ高度化の作業では「令和2年度 総務省周波数逼迫対策技術試験事務」（放送用周波数を有効活用する技術方策に関する調査検討）が始まった。

総務省が策定した20ほどの検討項目について、放送サービス高度化推進協会（A―PAB）が、昨年度の技術試験事務に続いて受託。各調査を実施する会社と契約を結び、順次、作業が始まっている。情報通信審議会にも「地上デジタル放送方式高度化作業班」が設置されており、技術試験事務は同作業班との連携のもとに進められている。

技術試験事務でメインとなるのが、東京・名古屋・大阪・福岡に設けた実験試験局による伝送実験だ。放送方式を提案しているNHK、TBS、関西テレビ放送に業務委託して実施している。

4地区では、NHK提案の地上放送高度化方式、TBS提案のLDM（Layered Division Multiplexing／階層分離多重）方式、関西テレビ提案のセグメント分割3階層MIMO（Multiple―Input Multiple―Output）およびSISO（Single―Input Single―Output）方式の検証を進める。

名古屋は4地区の中で唯一、中継局（鍋田）を整備し、親局（東山）から鍋田中継局に連なるさらに先に、新たな中継局を2カ所加える予定だ。

A―PABでは、各地での電波発射に伴い、テレビ視聴者などからの相談に備えて「地デジ高度化実験受信対策センター」を設置。名古屋地区で数件、ブースター障害の対策をした実績がある。

地デジ高度化を実現するためのチャンネル資源をどう獲得するかについても引き続き調査を進める。既存のチャンネルをどのように調整すれば、空きチャンネルを創出できるのか、といったポイントについて検討する。

地デジ高度化方式では、5Gを利用する、マルチキャスト伝送の携帯電話用新型放送プロトコル「FeMBMS（Further evolved Multimedia Broadcast/Multicast Service）」を用いた方式も関心を集めている。

衛星放送

BS左旋でHEVC2K放送

衛星放送の課題解決に向けた動きも加速する。総務省の有識者会議「衛星放送の未来像に関するワーキンググループ」（以下、WG）が昨年12月15日の第12回会合でこれまでの議論を整理し、今後の方向性について報告書（案）を取りまとめたからだ。

ポイントは、①新4K8K衛星放送の受信環境整備と4Kコンテンツの充実②右旋の空き帯域／左旋の未使用帯域の活用③経営環境変化への対応――の3点。

注目点の1つは、「周波数の有効利用の推進」における、右旋に新たな4K放送を割り当てる案だ。

これは、Dlife（ブロードキャスト・サテライト・ディズニー）などの撤退と、NHKが表明しているBS3波の2波への整理・削減などにより、BS右旋には1トラポン分の空き帯域が生じるとの前提から、2Kと4Kのどちらで利用するかをWGで議論したものだ。

右旋は受信環境が整っているため、4Kの新chが新4K8K衛星放送の普及促進に資するとともに、4K受信機購入者の利益にもかなうとの考えである。

現在の基幹放送普及計画（昭和63年郵政省告示第660号）では、基本的に4K放送は左旋で実施すると定めていることから、右旋に新たな4Kchを割り当てる際は、同制度の改正が必要となる。

参入希望が少ない左旋の活用も課題だ。ここではHEVC方式による2K放送など新たなサービスへの活用を検討する。

「経営環境変化への対応」でも画期的な案が示された。放送衛星システム（B―SAT）がBS、スカパーJSATがCSと、それぞれ個別に衛星を打ち上げ、運用している現状を、地上設備を含めて共用化の可能性を探ることになった。衛星の利用料金の低廉化についても見通しを立てていくことになっている。

衛星放送市場の営業収益は長期的には減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあって、業界全体が厳しい状況に直面している。

そうした中、衛星の利用料金の低廉化、周波数の有効活用などについて、有効な手立てを早い段階で見通しを立てていくことが求められた形だ。

「新4K8K衛星放送の受信環境整備」については、アンテナや配線設備の交換が必要な左旋への対応が最大の課題で、特に既設マンションの設備改修が焦点。

その対策は、①設備改修の内容や受信の選択肢を含めた視聴者への周知広報の強化②設備改修支援策である衛星放送用受信環境整備事業やケーブルテレビネットワーク光化促進事業の継続実施③プラスチック光ファイバやローカル5Gを活用した放送配信など、新たな技術の開発・検証・普及促進――の3点である。

2021年は放送業界にとって、未来への基盤を固める年だ。新型コロナウイルスと背中合わせの日常は、テレビの位置付けを変化させ、放送に変化を迫っている。こうした中で放送事業者は、自らの課題を整理し、その解消に取り組まなくてはならない。経営環境は厳しさを増しているが、人々への圧倒的なリーチ力を、デジタル適合させれば、新たなビジネスチャンスが訪れるはずだ。

ASTRO

8Kカムコーダー

AA-4814-B

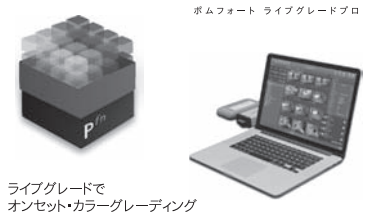
NEW

シャープ製8Kカムコーダー8C-B60Aを、アストロデザインでカスタマイズしたモデルです。
8K60p映像の撮影・収録・再生・ライン出力といった基本機能を継承しつつ、
画質や操作性を改善。
8Kコンテンツ制作、8Kライブ配信・中継等のあらゆる場面において、
さらに高品質な8K映像制作を実現します 。

Broadmedia & Entertainment Inter BEE
Inter BEE 2020 ONLINEに出展しています
https://www.inter-bee.com/ja/online/exhibition/detail/?id=104

アストロデザイン株式会社
事業本部（営業）〒145-0066 東京都大田区南雪谷1-5-2 TEL:03-5734-6301
大阪営業所　〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-18-27-1010 TEL:06-6328-8558
https://www.astrodesign.co.jp

POMFORT fn LiveGrade PRO
ポムフォート ライブグレードプロ



ライブグレードで
オンセット・カラーグレーディング

POMFORT fn Silverstack
ポムフォート・シルバースタック
オールインワン撮影素材管理ツール「シルバースタック」

大切な素材管理とカラーの
ワークフローをシンプルに。

tools ON air just:in
ジャスト イン
多チャンネル ベースバンド インジェストシステム

- 多チャンネル同時収録
- 4K / HD対応
- スケジュール収録
- 同期収録
- 各種コーデック
- mxfへの収録
- 追っかけ編集対応
- RS422 VTR制御

tools ON air just:play
ジャスト プレイ
Macで構築する番組自動送出システム

4K&HD対応／ サイマル送出／
IPストリーミング
コーデック・解像度混在に対応
／自動ルーター制御
強力なCGレイヤ／フェイルオー
バー対応／ライブフィードCSV・
XMLプレイリストインポート／
ルーター制御

プロジェクト共有・管理 編集コラボレーションシステム
STRAWBERRY
PROJECTIVE
「Strawberry」は、Avid、Adobe Premiere、Final Cut Proなど、プロフェッショナルビデオ編集環境のネットワーク共有ストレージ上で、独自の仮想抽象化レイヤ技術でプロジェクトとコンテンツ、ユーザーとグループを管理。プロジェクト共有とプロジェクト管理を実現し、より高度な素材データ共有を効率化する編集コラボレーションシステムです。

えいぞうこ
EIZOKO
NAS機能つきアーカイブアプライアンス
シナジー「EIZOKO」は、LTOテープへのアーカイブとアーカイブ後のデータ活用を快適にする機能を備えたアーカイブシステムです。簡易MAM機能を備えたArchiware P5 ArchiveをストレージOSに統合し、あらゆるメディアデータをLTOで保管・管理。映像や音声データをプロキシムービーとともに保管するだけでなく、WordやPDF、予算管理などのExcelデータまでのすべてをLTOにアーカイブし、インデックス管理します。

ROOT6 TECHNOLOGY
ファイルベース ワークフロー自動化ツール
CONTENTAGENT
・映像・音声ファイルの自動トランスコード
・ノードベースのGUIで自動化ワークフローを構築
・メタデータ抽出・改変　・QCチェックツールとの連携
・GPU処理によるフレームレート/解像度/IP変換

映像用途に特化した国産NASストレージ
MIDO NAS

ARCHIWARE
アーキウェア ・ P5アーカイブ
P5 Archive
LTO等にデータを長期保管
メディアアセット管理機能搭載

株式会社シナジー　www.synergykk.com　03-4563-1901

生かせ圧倒的リーチ力

4K放送

鍵はBS民放のピュア4K番組

新4K8K衛星放送は、受信可能機器の出荷台数が昨年11月末時点で669万台と、着実に増加している。

ピュア4K、8K番組を安定供給するNHKの一方で、同放送の普及の鍵を握るのがBS民放だ。BS日テレは「ラグビーワールドカップ2019日本大会」の計8試合を4K生中継。ディレード放送も交えて展開した。現在は報道帯番組『深層NEWS』の4K放送や舞台、美術、海外紀行など、多様性に富んだ特別単発番組にチャレンジしている。

同局は、「報道やスポーツはライブ感、多様性に富んだ単発特番は4K高画質で臨場感、立体感を創出したい」という。

BS朝日は「4Kインフラを持つ放送局として、4Kでより魅力が増すコンテンツ&ジャンルを開発していく責務がある」と意気込む。

ニュースベルト番組を4K化している他局に対し、BS朝日はニュースベルト番組がないため、4K化するジャンルのバリエーションを増やして対応しているという。

『人生、歌がある』では歌手のパフォーマンスを4K映えするダイナミックな照明などを駆使し、歌謡ショーを成立させている。

特番では「高精細の映像によりマジックのトリックを見破れるか?」をテーマに「4Kマジック」としてフィーチャーし国内外の有名マジシャンの技を4Kで伝えている。

民放BS局では唯一、レギュラーでドラマを作り続けているのがBSテレ東。今後も4K放送に前向きに取り組んでいくとのこと。映画やスポーツ、紀行番組など4Kが生かせる番組と判断できるものは極力4Kで作っていく方針だ。

BS-TBSは、「スポーツや報道、ドラマ、グルメ、紀行ものなど幅広いジャンルで視聴者に4K映像の素晴らしさを伝えたい」という。BSフジは「レギュラー番組、特番にかかわらず、積極的に4K番組を編成していく」としている。

3月1日から放送を開始する「WOWOW 4K」も注目だ。4K独自編成による総合チャンネルで、オリジナルドラマやスポーツ中継など4K制作コンテンツを中心に展開する。

昨年12月、ＮＨＫ・民放ＢＳ５社共同キャンペーン「新４Ｋ８Ｋ衛星放送で見ようよ！月間」が実施された

展望2021

CATV

ローカル5Gの商用化を推進

CATV業界にとっての最重要テーマの1つが、新たな無線インフラ「ローカル5G」の商用化だ。

昨年12月11日に、日本ケーブルテレビ連盟（JCTA）が実施した、ローカル5Gの基地局免許取得6社による活用事例の発表会見で同連盟の渡辺克也理事長は「CATV業界はこれまで地域BWA、MVNOに取り組んできたが、ローカル5Gによって無線サービスの新たなステージに入る。ポイントは、ローカル5Gによる地域DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進だ。

6社の内の1つ、となみ衛星通信テレビ（富山県南砺市）は、「CATV事業者は地域DXを担うのに最も適した存在で、地域DXはCATV業界の新たな収益源になる可能性を持っている」との見方を示す。

愛媛県内7カ所に基地局を設置し、幅広い分野でローカル5Gを推進する愛媛CATVも「愛媛をローカル5Gの聖地にする」と、いずれも同分野での事業創出に強い意欲を見せた。

ローカル5Gを含め、CATVの無線事業については、JCTAの無線利活用委員会を中心に、積極的に活用していく方針を示している。

CATV業界のローカル5G・地域BWAの取り組みを支える会社としては、CATV事業51社と住友商事が出資する地域ワイヤレスジャパン、そして、CATV事業5社と地域ワイヤレスジャパン、住友商事、IIJが出資するグレープ・ワンがある。

グレープ・ワンは、業界統一コア、基地局、端末など、CATV事業者のローカル5Gをシステム面で支えることを目的に設立。昨年12月2日には全国で初めて、ローカル5Gシステム供給事業者として、5G投資促進税制の認定を受けている。

この認定により、同社システムは総務省、経済産業省からサイバーセキュリティーに対応した安心安全なシステムであることが認められ、同社システム導入事業者は税制優遇を受けられる。

この認定に基づき同社は、ローカル5Gミリ波帯システムの商用提供を開始。サブ6のシステムについても、3月から商用提供を予定している。

4K LIVE PRODUCTION

撮影から中継、送出に至るまで、Ikegamiの放送機器が生み出す4K映像の表現力と魅力をliveでつなげるSolutionを提供します。

4K/HD マルチパーパスカメラ	4K/HD ポータブルカメラ	4K・IP伝送対応 デュアルモード・デジタルFPU装置	4K ライブプロダクション スイッチャ	4K/HD マルチフォーマットLCDモニタ
UHL-43	UHK-430	PF-900	MuPS-5000	HQLM series

池上通信機株式會社 〒146-8567 東京都大田区池上 5-6-16　www.ikegami.co.jp

お問い合わせは ●放送システム営業第1部 TEL:03-5748-2201 / TEL:03-5748-2221 ●大阪支店TEL:06-6389-4466 ●名古屋支店 TEL：052-705-6521 または右記営業所へ ●札幌TEL：011-231-8218 ●仙台TEL：022-292-2420 ●福岡TEL：092-451-2521

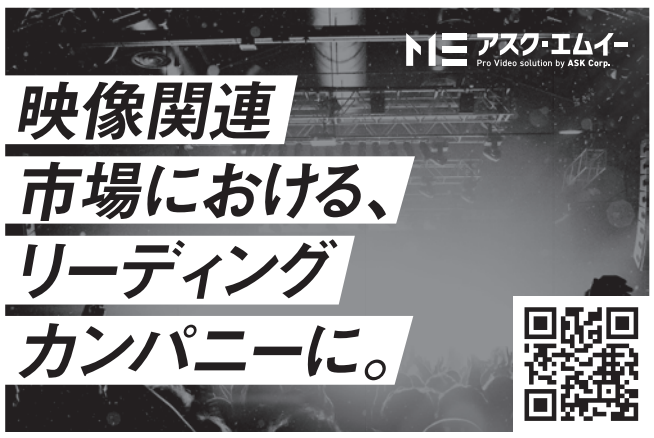
謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和3年新年

謹賀新年

代表取締役社長
西 美砂子

株式会社エクサインターナショナル
〒107-0052 東京都港区赤坂2-16-9
TEL 03-5575-3911 FAX 03-5575-3910
www.exa-int.co.jp



株式会社アスク
メディア&エンタープライズ事業部
〒102-0074
東京都千代田区九段南4-8-21 山脇ビル7F
TEL:03-5215-5676(部門直通)

株式会社リーンフェイズ
〒102-0093
東京都千代田区平河町1-7-20 COI平河ビル2F
TEL: 03-4400-7386

株式会社アクシスアソシエイツ
エーエーアイスタジオ
代表取締役 池田 克己
〒105−0004
東京都港区新橋6−16−10 御成門BNビル5,6F
TEL 03−3434−0721 http://www.aai-s.co.jp

ADTECHNO
Connectivity and Digital Display Solution

株式会社エーディテクノ
〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町 3-29
FORECAST 市ヶ谷 3F
TEL: 03-5206-3330（本社）
TEL: 06-6451-0050（大阪）
www.ad-techno.com

STUDIO WELT

代表取締役
安井純治
03(3433)9371
http://www.welt.co.jp

ITOCHU
伊藤忠ケーブルシステム株式会社
代表取締役社長
中谷　晃治
〒141-0022
東京都品川区東五反田 3-20-14
高輪パークタワー
TEL：03-6277-1821（代表）
FAX：03-6277-1850
https://www.itochu-cable.co.jp

---

aoi
アオイスタジオ株式会社
代表取締役社長
岩成正和
〒106-0045
東京都港区麻布十番一−一−一四
電話（〇三）三五八二−三八一一
FAX（〇三）三五八二−九六八二

IDK with your vision, Always.

代表取締役
岩﨑 秀樹
株式会社 アイ・ディ・ケイ
〒242-0021
神奈川県大和市中央7-9-1
TEL 046-200-0764 www.idk.co.jp

NKL
株式会社NKL
代表取締役
軽部 進一
日本映画監督協会会員
〒183-0005
東京都府中市若松町２丁目 30-5
NKL ビルディング
TEL 042-358-0777　FAX 042-358-0790
URL http://www.nkl.jp/

代表取締役社長
尾﨑 求

AVC 株式会社映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.
〒135−0063
東京都江東区有明3−7−18
有明セントラルタワー8F
TEL:03−3527−8571
http://www.avc.co.jp/

---

imagica
代表取締役社長
大林 克己
株式会社IMAGICA Lab.
〒141-0022
東京都品川区東五反田2-14-1
TEL:03-3280-7500
FAX:03-3280-7503
URL:https://www.imagicalab.co.jp

---

anami
アナミ海外株式会社
代表取締役
山本三佐男
〒164-0011
東京都中野区中央4-6-18-2F
Tel:03-3384-1860
Fax:03-3384-1867
http:/www.anamikaigai.co.jp

---

i-TEM
代表取締役社長
亀ヶ谷 文彦
株式会社アイテム
〒210-0826
神奈川県川崎市川崎区塩浜
4-13-15
Phone　(044)266-1171
Fax　(044)266-1389

---

ngc
https://www.ngc.co.jp
代表取締役社長
博士 （情報科学）
橋本　昌嗣
株式会社エヌジーシー
TOKYO (HQ) | CHUBU | OSAKA
〒135-0062 東京都江東区東雲 1-7-12
KDX 豊洲 グランスクエア 8 階
TEL 03-6380-8142 | FAX 03-6700-1826

公益社団法人
映像文化製作者連盟
会　長
善方　隆
〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町17-18
藤和日本橋小網町ビル7階
TEL (03) 3662-0236/FAX (03) 3662-0238
http://www.eibunren.or.jp

International Creative
代表取締役社長
永野　浩司
株式会社
インターナショナルクリエイティブ
〒105-0014　東京都港区芝1-5-10 ICビル
TEL 03-5443-7181
URL https://www.incre.co.jp/

AVID
4K・8K・Cloud
バイスプレジデント／アジアセールス
池内 亨
アビッドテクノロジー株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂 2-11-7 ATT新館ビル 4F
Tel. 03-3505-7937
Fax. 03-3505-7938
www.avid.com/ja/

---

i-NEX+
コンテンツ制作を
ワンストップで。
株式会社アイネックス
〒553-0003
大阪市福島区福島２丁目４番３号
ABC アネックス 4F
Tel 06-6452-2018
www.i-nex.jp

展望2021

リモートシステムを活用し制作環境の再構築に挑戦

コロナ禍におけるプロダクション

プラットフォームの変化にも対応

2021年は、社会全体で新型コロナウイルス感染防止への対応が必要となる。映像制作業界も安全な作業環境を作るため、ネットワークを活用したリモートシステムを取り入れたい。

現在、映像コンテンツのプラットフォームの勢力図が変わってきた。2020年3月に発表された「2019日本の広告費」では、インターネット広告費が6年連続2桁成長でテレビメディア広告費を上回り、2兆1048億円と2兆円超えを果たした。

映像制作では今後、さらなる効率化や新規領域の開拓により、テレビを媒体とするCMや番組制作に頼った事業内容を変革する必要がある。1月4日から営業を開始したTree Digital Studio（東京都渋谷区）は、AOI TYO Holdingsのグループ組織改正に伴って、デジタル・ガーデンとメディア・ガーデン、TTR、ルーデンスが合併。編集、MA、CG制作、機材レンタル、スタジオ運営という各社の業務を生かしながら、動画制作やxR制作など新たな取り組みを始める。

◆コロナ禍でリモート制作が注目

20年は言うまでもなく、新型コロナウイルス感染症が社会に大きな影響をもたらした1年となった。映像業界では、予定していた撮影、編集の延期または中止が相次いだが、緊急事態宣言後は徐々に再開し、各社とも検温やマスクの着用、手洗い、換気、共用部分の消毒などの感染対策を実施しながら業務を続けている。医療コンサルタント会社のアドバイスに基づくガイドラインを運用するプロダクションも多い。

しかし現在でも海外での取材は難しいことが多く、国内でも地元の人との触れ合いをテーマとするものはロケに行けない場合が多いという。映像業界が大きな期待を寄せてきたライブイベントも、これまで通りとはいかない。

これにより、今後重要度を増してくるのが、1つの場所に集まることなく、遠隔地のデータにネットワーク越しにアクセスすることで作業することができる「リモートシステム」となる。

20年には、素材管理システムと連携できる放送局向けの大規模製品から、クラウドでの編集やレンダリングを想定したサーバーシステム、リモートデスクトップに特化したものまで、大小さまざまな規模のサービスが新たに発表された。

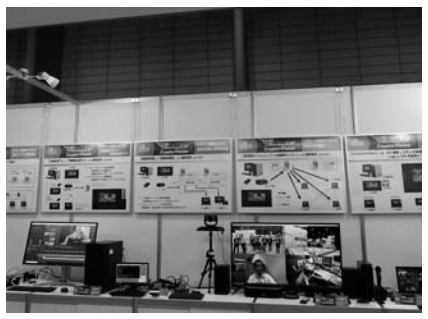
ポストプロダクションでは特に、CM制作の編集やMA、プレビュー、撮影現場で映像配信で活発に利用されており、自社で独自のシステムを整備し提供している企業もある。最近では、遠隔地と接続するだけでなく、スタジオが密にならないよう建物内の会議室や空きスペースに人を分散し、映像や音声を確認してもらうという体制づくりにも使われている。

関係者の1人は「顧客からは、細かな意思疎通のしやすい対面での作業がいいという意見が多いが、リモートシステムはおおむね好評だ。特にプレビューは時間の融通がしやすいことから利用頻度が高い」と話す。

今後はさらなる画質音質の改善や安定性の向上、遅延時間の短縮が課題となる。さらに編集・MA作業自体をリモートで簡単に実行できる汎用的なシステムの普及も期待される。

固定の制作設備にはこれまで培ってきた技術とノウハウを生かせる利点があり、今後も主流であることは間違いない。しかし同時に、ネットワークを活用することでの新たな制作体制の構築も期待されている。

新型コロナはワクチン開発が進む一方、気候の変化や人々の行動が活発化してきたことで、再び感染拡大が始まっている。



リモートシステムが注目（第4回映像伝送EXPO ENWAブース）

同社常務取締役の岩崎史貴氏は20年夏のインタビューで、「イベント業務は徐々に増えているが、（コンセプトや安全面など何を重視するのか）バランスが変わってきた。一方、配信の成功事例も出てきている。イベントは今後、リアルと配信を組み合わせたハイブリッドになるだろう」と話している。

また、東京サウンドプロダクション（東京都港区）は、中―小規模のイベントでも利用しやすい、一般回線をベースとしたリモート中継・配信サービスを提供している。同社の掛田憲吾氏は、起きていることを伝える中継の意義と同時に、今後について「これまでの動画配信はプラットフォーム側が環境を整備してきた面がある。私たちは映像会社として、単にリアルな様子をオンライン映像化するだけでなくよりリッチな映像コンテンツを届けたい」とする。

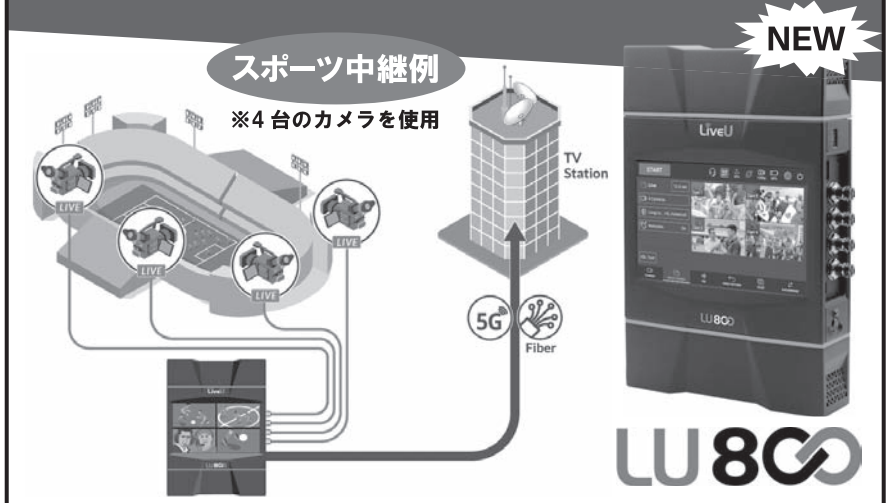
そのためには「格好良く画を見せる、合成で魅せることなどが必要で、これまでと違ったコンテンツの作り方が重要となる。伸びしろの大きい領域でもある。今後、よりバリューをつけたオンラインイベントにしたいという顧客も増えており、これを実現していきたい」としている。

またIMAGICA EEX（東京都千代田区）は、VRやARなどのxR技術をイベントで活用。同時に、親会社のIMAGICA GROUPは、文化庁から「高臨場感ライブビューイング、プラネタリウム型ドームシアター、XR LIVE動画配信、2D3D同時視聴バリアフリー型シアター」を活用した文化芸術収益力強化事業」を受託。文化芸術団体の経営環境が厳しさを増すなか、リアルな会場以外での新たな体験機会や価値を探っていく。

イベントのあり方は今後多様化するであろうが、そこでは従来同様、訴求力のある映像が必要となる。それを実現していくのが今後の映像プロダクションなのであろう。

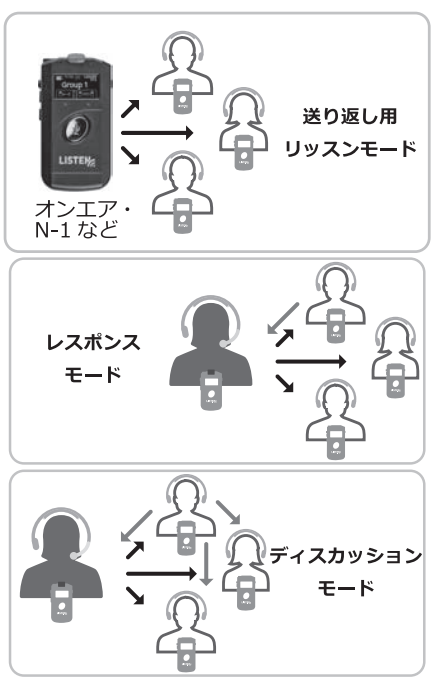
◆コロナ禍と今後

コロナ禍は、1カ所に人が集まって長時間仕事をするという制作環境の変革を迫った。オンライン化やデジタル化（DX）による効率化を少しでも取り入れることで、新しい制作スタイルをつくっていくことが求められる。

LiveU マルチカメラ対応 LU800
スポーツ / 制作番組 / イベント
リモートプロダクション対応モバイル中継装置！！
NEW
スポーツ中継例
※4台のカメラを使用


LU800 デモ好評受付中！
LiveU 製品のデモは当社ショールームにて実施しております。
詳しくは、営業担当もしくは下記までお問合せください。
要予約 映像システム営業部 TEL：03-5484-7270
http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd/live-stream
三信電気株式会社 ソリューション営業本部 映像システム営業部
〒108-8404 東京都港区芝4-4-12 Tel：03-5484-7270 / E-mail：eizo-info@sanshin.co.jp
http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd

簡易無線局において
350MHz 及び 400MHz 帯のアナログ方式の周波数は
2022 年 12 月 1 日以降使用できなくなります。
ListenTALK は最新の DECT 方式
無線コミュニケーションシステムです



松田通商株式会社
詳細はこちら➡
本　社　〒107-0062　東京都港区南青山3-3-15　MTCビル　Tel: 03(5413)4611　Fax: 03(5413)4618
大阪営業所　Tel:06(6101)2822　Fax: 06(6101)2823　Mail: inquiry@mtc-japan.com　▶https://mtc-japan.com/

謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和3年新年

感即動、心に残る映像表現。
SVS SAN-IN VIDEO SYSTEM
代表取締役
高橋 宏之
株式会社山陰ビデオシステム
http://www.s-video.co.jp
〒683-0801 鳥取県米子市新開2丁目1-7
TEL 0859-32-6100
FAX 0859-22-8160

AV COMMUNICATION SYSTEM KOWA
株式会社 光和
代表取締役社長
小泉 俊哉
〒135-0053
東京都江東区辰巳 1 丁目 5 番地 25 号
営業本部 営業部
TEL：03-3522-2341
FAX：03-3522-2349
レンタル本部 レンタル営業部
TEL：03-3522-1040
FAX：03-3522-2190
http://www.kowanet.co.jp

代表取締役
佐藤宣明
株式会社 ガル・エンタープライズ
〒104-0042
東京都中央区入船3-7-2 山崎ビル2F
TEL:03-3206-0180 / FAX:03-3206-0190

NHK Technologies
株式会社 NHKテクノロジーズ
代表取締役社長
大橋 一三
〒150-0047
東京都渋谷区神山町四―十四（第三共同ビル）
電話（〇三）（三四八一）七八二〇
FAX（〇三）（三四八一）七六二三

NHK ART
代表取締役社長
小野木 昌史
株式会社 NHKアート
〒151-0063
東京都渋谷区富ヶ谷 1-14-7 アートビル
TEL (03)3481-2881
FAX (03)3481-2905
www.nhk-art.co.jp

人にTouch 世界にTouch Sunmulon
Switches for Switcher
代表取締役社長
川島 敬介
株式会社 サンミューロン
〒142-0041
東京都品川区戸越 3 丁目 1 番 10 号
TEL 03-3783-6721
http://www.sunmulon.co.jp

COSMO SPACE
COSMO SPACE
代表取締役社長
市川 精也
株式会社コスモスペース
〒102-0081
東京都千代田区四番町 5 - 6
日テレ四番町ビル 1 号館 3F
TEL：03-3263-7201
https:/www.cosmospace.co.jp/

CREEK & RIVER Co., Ltd.
代表取締役社長
井川 幸広
株式会社クリーク・アンド・リバー社
〒105-0044
東京都港区新橋四丁目 1 番 1 号 新虎通り CORE
TEL：03-4550-0011
FAX：03-4550-0010
〒542-0081
大阪市中央区南船場 3 丁目 5 番 8 号 オーク心斎橋ビル 8 階
TEL：06-7711-1011
FAX：06-7711-1021
creek@hq.cri.co.jp http://www.cri.co.jp/

株式会社 教映社
代表取締役社長
佐藤 一男
本社 535-0002 大阪市旭区大宮四―一五―六
イベント（事）電話（〇六）六九五一―七七一二
東京支店電話（〇三）三五二二―三〇二一
神戸支店電話（〇七八）三七一―三一八一
京都支店電話（〇七五）五三一―五一一〇

plala ひかりTV
本年も変わらぬご厚情を
賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。
株式会社 NTTぷらら
代表取締役社長
永田 勝美
〒170-6024 東京都豊島区東池袋 3-1-1

CCOM
デジタル映像
制作システム構築
インフラ設計/施工
株式会社シーコム
ソリューション事業部
〒160-0022
東京都新宿区新宿4-1-19 冨美ビル
TEL (03) 5366-1823 FAX (03) 5366-1824
URL http://www.ccom.ne.jp/solution/

メディアコンテンツビジネス
新時代を支える専門イベント
Connected Media
DSJ2021
デジタルサイネージ ジャパン
2021 年 4 月 14 日 -16 日
幕張メッセ
https://www.interop.jp/
【お問い合わせ先】
(株)ナノオプト・メディア
june-info@f2ff.jp
NANOOPTMedia

cross TV
代表取締役社長
髙見 鉄男
株式会社
クロステレビ
〒162-0043
東京都新宿区早稲田南町56-2
TEL03-3200-8011（代表）

KYORITZ
Live Communications
株式会社 共立映像
代表取締役社長
村上 晃
〒151-0053
東京都渋谷区代々木5-40-13
共立ビル3F
TEL.03-3469-1507
FAX.03-3460-9370
http://video.kyoritz.co.jp

ENWA株式会社
Enwa Co., Ltd.
CreaterVision
CM作成用 リモート試写システム
代表取締役
岡田 修
Okada Osamu
本 社：〒550-0014
大阪府大阪市西区北堀江2-1-11 久我ビル北館8F
Tel. 06-4390-3522 Fax. 06-4390-3523
URL https://www.enwa.tv
E-mail : okada@enwa.tv
東 京：〒103-0012
営業所 東京都中央区日本橋堀留町1-3-16 JSB日本橋407
Tel. 03-3663-2080

Cima
株式会社シーマ
代表取締役
堤 裕成
大阪本社
〒564-0053
大阪府吹田市江の木町20-10
TEL.06-6310-4100
www.cima-net.co.jp

株式会社 サニー
代表取締役
安田 泰司
151-0066
東京都渋谷区西原三―七―一三
電話（〇三）三四六六―〇三九五
FAX（〇三）三四六六―一二一一

K-WILL
いつでもどこでも QC
代表取締役社長
工学博士
浜田 高宏
株式会社 K-WILL
〒194-0001
東京都町田市つくし野 3-23-41
マルビシビル 2 階
TEL 042-788-3833
FAX 042-788-3835
www.kmw.co.jp/

最新の機材を
プロの現場へ
株式会社 銀座サクラヤ
代表取締役社長
浅沼 健司
本社
〒104-0061 東京都中央区銀座 2-8-5
Tel.03-3561-6151 Fax.03-3561-6152
セールス & レンタル Div.
〒111-0051 東京都台東区蔵前 3-12-2
Tel.03-3863-5171 Fax.03-3863-5177
SINCE 1949
Ginza Sakuraya
TOTAL AV SOLUTION

ONKIO HAUS
代表取締役社長
高根 護康
株式会社 音響ハウス
〒104-0061
東京都中央区銀座 1-23-8
TEL 03-3564-4181
FAX 03-3567-0935
https://www.onkio.co.jp

新たなステップを踏み出す好機

コロナ禍で見えてきた課題

苦難の2020年が終わり、2021年が始まった。今年が明るい1年になるかは分からないが、1つ確実に言えることがある。2021年を形作るのはわれわれであり、ほかの何ものでもない。新型コロナウイルス感染症（COVID―19）は、社会の問題点をあぶり出す働きもあった。日本の「デジタル化」の遅れ、扇動に動く階層の存在といったマクロなものから、「テレビ電話画質でも番組は成り立つ」まで、多くに及ぶ。これまで「そんな質では使えない」としてきたことが、「質よりも大事な物があった」と気づかされることとなる。激動の時代は続く。われわれは、そろいつつある技術を手に前進あるのみだ。

（杉沼浩司）

展望2021

★変わる制作

COVID―19の爆発的流行が3度起きている。英米をはじめ一部の国でワクチンの接種が始まったが、効果が現れるまでには時間がかかる。東京五輪までに十分な接種が国内でできるかも見えてこない。

新型コロナウイルスは、人間が運んでいる。動物による大々的な媒介は確認されておらず、人の接触が原因となる。ならば、これを断つしかない。その意味で、都市封鎖や行動制限は当然の動きとなる。

COVID―19対策で、テレビ、ラジオのスタジオもあり方が一変した。屋内での公開収録はほぼ見られなくなった。スタジオ内で出演者たちは距離を置く。間延びした画としないために、合成が使われる。これまで、このようなエフェクトを使わなかった生放送の情報番組や一部の報道番組でも当然のように使われ始めた。小さいが大切な変化だ。

ラジオ番組は、スタジオやブースの衛生管理に苦しんでいる。トーク番組では出演者の距離を空けるが、狭いスタジオでは限界がある。楽曲の再生中に扉を開け換気するなどの努力がなされている。

「換気の良いスタジオ」との要求はあっても容易に作れるものではない。空気の移動は風となり、雑音の元である。換気装置からの音の侵入をどう防ぐか。これも対策が必要だ。場合によっては、一定の風雑音は許容し、電子的（信号処理）にこれを抑圧することになるかもしれない。

「ソースには手を加えず収録し、後段で加工する」といった従来の方式に拘泥していては、乗り越えられない課題の可能性もある。信号に手を加えないことが目的なのか、音質を確保することが目的なのか。このような新旧のぶつかり合いは、いたる所で生じるだろう。

制作の分散化・仮想化が進展

五輪では各国クルーの態勢に注目

意匠設計が最上位に来る建築の世界において、設備設計は常に最後に回されてきた。これまで、注目を浴びなかった分野ににわかに光が当たっている。そこに電気電子、さらには情報処理やAIが組み合わさってくる。1分野で物事を解決する時代は、既に過去のものとなっている。

★単発銃と機関銃

本紙20年12月14日号でも指摘したが、制作の遠隔化に続いて分散化・仮想化が進展する。筆者が注目するのは、東京五輪である。各国に配信される国際映像とは別に、独自の映像制作のためクルーが来日する。しかし、COVID―19状況下でもあり、人数を大幅に絞り、遠隔化や仮想化を進めてくるはずだ。

これまでだったら、国際放送センターを埋めていたクルーだが、今回は大幅に減少するに違いない。遠隔化・仮想化による効率向上を観察する絶好の機会でもある。

半世紀以上前の東京五輪の時、日本のスチルカメラマンたちは一球入魂ならぬ「一押し入魂」で決定的瞬間を収めようとした。海外勢は、モードライブによる連写で、多くのコマから選択して使用した。結果は、海外勢の圧勝だった。

日本のカメラマンの写真は空振りに終わることが多かったと分かり、単発銃と機関銃の違いと言われた。今回、制作体系の違いが、番組にどのような違いをもたらすか、大変に興味深い。

★5Gも活用可能

5G（第5世代移動通信システム）は、超高速で低遅延・超高信頼性、大容量の特徴が語られるが、現時点ではほとんどが実現できない。それは、4Gの地上系（交換システムなど）に5Gの無線機をつないだだけの「NSA（ノン・スタンドアローン）」構造だからだ。これが、すべてを5G用で構成する「SA（スタンドアローン）」になるのは2021年だ。やっと「ホンモノの5G」が実現する。リモートカメラの操作には5Gが活用できる。

さらには、ローカル5Gも意味を持ってくる。スタジオ内の通信を、無線LANではなくローカル5Gとすれば、装置類の完全無線化が見えてくる。電源もバッテリーとなる。

確かに、カメラのRAW出力で考えれば、5Gでも伝送容量は足りない。しかし「メザニン圧縮」と呼ばれる軽量高画質の圧縮を施せば、伝送は無理ではない。スタジオ内でカメラ出力を圧縮することは昔なら許されなかっただろう。しかし、僅かな画質差のためにケーブルがのたうつスタジオが受容される時代とは考えられない。ここでも、過去の主義から離れて、真に必要な事柄に舵を切る必要がある。

★次世代の地デジ

次世代の地上デジタル放送（高度化地デジ）方式も姿が見えてくる時期だ。技術的には変復調や符号化、多重化など多くの発達を取り入れられる。しかし、聞こえてこない議論が「なぜ、地デジを高度化するか」である。

もちろん、「4Kのため」は答えの1つだろう。だが、4Kだけが目的か。地上波放送の存在意義は何で、どのような要求に応え、将来を見据えるためにこの技術を導入するとの説明ができるだろうか。

問われる地上波放送の真価

国民の意見を取り入れて高度化へ

揃いつつある技術を手に前進あるのみ

並行して考えるべきは移動受信のあり方だ。次世代地デジの移動受信機はどうするのか。移動受信は諦めて、そちらは携帯電話サービスを使用する、というのも1つの考え方だ。しかし、放送の「譲れない一線」があるとすれば、携帯電話サービスを全面的に利用するのは危険と考えられる。

あくまでも、携帯電話網による通信は補助的な存在であり、放送事業者が管理できる形での配信が望ましい。そうした時に、移動型受信機が市販されるようにするにはどうしたらよいか。かなり複雑な関係を、ほどく必要がある。

そして、議論については透明性が求められる。さもなければ、国民の了解を得られないからだ。形だけの意見公募は無意味である。業界自ら、一般に問いかけ、意見を交わす活動をしなければ、放送は人々の意識から遊離したものとなり、振り向かれないだろう。

★悩ましい圧縮方式

動画像の高能率符号化（圧縮）方式は、約10年で1世代進む。現行の地デジにMPEG2の採用が決まった後、約2倍の効率を持つMPEG4AVC／H・264（以下、AVC／H・264）が規格化された。地デジ方式（ISDB―T）は、1999年に規格化されている。AVC／H・264が規格化されたのは2003年だ。放送方式規格化のタイミングを間違うと、長期間効率の低い方式を使うこととなる。

MPEG2のころは、コーデック用半導体の開発に時間が掛かり、低価格化にも時間を要した。その意味では、テレビのような汎用家電製品では価格が下がるまでの時間を稼ぐために、最新規格に「飛びつかない」と語られたこともある。

しかし、価格低下が迅速にされる現在、あえて1世代前の符号化方式を選ぶことこそ、帯域の浪費となる。HEVCの次とされるVVCは2020年7月に規格化された。知財権が複雑になり、採用しにくい規格ではある。次善の策でMPEG5EVCもある。VVCのビットレートはHEVC比4割減だが、VVCは2割5分だ。いずれを選ぶにせよ、その根拠とともに説明があってしかるべきだろう。

1インチVTRとして世界を席巻したソニーのBVHシリーズ

★小細工は終わり

ISDB―Tのころ、国産産業保護のため種々の小細工がなされたという。代表的なものの1つが、「データ放送」再生方式だ。海外メーカーが実装することを妨げることを意図した。その後、日本の家電産業は衰え、海外企業が製造する製品も多くなった。自国産業保護を目指した規格上の小細工は、作り難さとなってはね返っている。

もちろん、国際標準策定の場で自国有利に導くための工作がされるのは、昔も今も変わらない。ただし、国際標準は各国の投票で決まるため「ちょっとした有利」程度が関の山だ。一方、目が届きにくい国内規格では、いろいろな工作が可能なようだ。長期的に見れば、百害あって一利無しに違いない。

★いつまでVTR

映像業界に「そろそろVTRと呼ぶのをやめないか？」と提案する。VTRとはビデオ・テープ・レコーダーの略で1インチフォーマットなどの機器に対して呼ぶ言葉だ。英語圏では、ベータカムなどカセットに入ったテープを使う機器は「VCR（ビデオ・カセット・レコーダー）」となる。

いずれも、映像制作の現場からはほとんど退いたとみていいだろう。VCRをVTRと呼ぶ誤用、そして存在しないVTR（またはVCR）を指すという誤用、この両方をそろそろただす時期だろう。

おそらく、若いタレントは、VTRもVCRも見たことがない。見たことがなく、存在もしない機械の名を呼ばせるのは、罪なことではないか。

新年は、新たなステップを踏み出す好機となる。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和3年新年

阪急阪神東宝グループ
togen
To Generation Next

株式会社 東京現像所
代表取締役社長 矢部 勝
〒182-8555
東京都調布市富士見町二の十三
電話 〇四二（四八五）九九一〇
FAX 〇四二（四八一）六一〇〇

Cinefocus
映像で
できることの
すべてを。
代表取締役社長
八重垣 圭
〒104-0061
東京都中央区銀座1-19-7
銀座一丁目イーストビル7階
TEL:03-5524-5011
ホームページがリニューアルしました
https://www.cinefocus.co.jp/

SAN-EI TV
”人と技術”で新しい価値を創造する
放送設備
シネマ
デジタルサイネージ
Technology × Creative
大型映像
蓄電池
メディカル
設計・施工・調整・保守のワンストップサービス
サンエイテレビ株式会社　http://www.sanei-tv.co.jp/

TOKYO KOON
株式会社 東京光音
フィルム／ビデオ／サウンド／デジタル修復・復元センター
代表取締役社長 三鬼 浩
〒151-0061
東京都渋谷区初台1-47-1
小田急西新宿ビル1階
TEL:03(5354)6510
FAX:03(5354)6515
URL www.koon.co.jp/　光音ブログ koon.co.jp/wp/

トータル技術をプロデュース
T-TEX
代表取締役社長
河野志朗
株式会社 TBSテックス
〒107-0052
東京都港区赤坂2-5-4 赤坂室町ビル6F
TEL 03-3505-7050　FAX 03-3505-7051
http://www.tbs-tex.co.jp

SMA
株式会社 SMAホールディングス
CEO
緒方 克彦
〒150-0011 東京都渋谷区東1-27-10東海ビル8F
TEL:03-6452-6460　FAX:03-6452-6461
株式会社SMAホールディングス
株式会社ストロベリーメディアアーツ
株式会社エス・エム・エイ(SMA)
株式会社SMAクリエイティブ

SiliconCore
redefines clarity
代表
梅村 誠
Umemura Makoto
シリコンコア・テクノロジー 合同会社
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜
3-8-8 日総第 16 ビル 7F
Tel：045-475-1858
www.silicon-core.co.jp

JBS-inc.jp
JBS
japan broadcast solutions Inc.
映像・音響・ICT システムの設計、開発、施工 及び 保守
ジャパンブロードキャストソリューションズ株式会社
代表取締役
山根 浩二
■ 大阪本社
〒541-0042 大阪市中央区今橋 1-6-19 アーク北浜ビル 2F
TEL 06-6228-3131　/　FAX 06-6228-3132
■ 東京支店
〒108-0073 東京都港区三田 3-4-2 6F
TEL 03-6809-3072　/　FAX 03-6809-3074
Blackmagicdesign ブラックマジックデザイン大阪ストア
〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町 4-3-9 丸盛ビル
営業時間：10:00-18:00
定休日：土日・祝日　TEL 06-6484-5544

TSP
(株) 東京サウンド・プロダクション
代表取締役社長
三上 信一
〒106-0031
東京都港区西麻布2-24-11
麻布ウエストビル
TEL 03-5466-5645
FAX 03-5466-5636

TBS
株式会社 TBSテレビ
〒107-8006
東京都港区赤坂5-3-6
Tel.03-3746-1111
http://www.tbs.co.jp

一般社団法人
全国地域映像団体協議会
名誉会長 信井文夫
理事長 遠藤 誠
副理事長 川筋雅文
副理事長 岩月雅章
事務局長 姫野敬幸
＜本部事務局＞
〒460-0006
愛知県名古屋市中区葵 1-27-29-402 （株）テレビシティ内
TEL　052-933-5131
FAX　052-933-5132
URL http://www.zeneikyo.jp
＜東京連絡事務所＞
〒112-0006
東京都文京区小日向1-24-8エイゾービル
TEL　03-3942-2161
FAX　03-3942-2581

代表取締役社長
茨木 繁
STUDIO B&M
株式会社 スタジオ・ビーアンドエム
〒530-0002
大阪市北区曽根崎新地2-6-12 小学館ビル
TEL：(06) 6341 - 2285
http://www.st-bm.com

株式会社
松竹映像センター
SHOCHIKU MediaWorX Inc.
代表取締役社長
山下 良則
取締役
齋藤 朋彦
取締役
五十嵐真
〒135-0091
東京都港区台場 2-3-5
台場ガーデンシティビル 7F
TEL 03-6758-0248

映像技術のプロフェッショナル
東通
www.totsu.com
代表取締役社長
國分 幹雄
株式会社　東通
〒107-6109
東京都港区赤坂 5 丁目 2 番 20 号
赤坂パークビル 9 階
tel. 03-3585-0700 代表

TELETECH
株式会社テレテック
代表取締役社長 小嶋 昭男
本社
〒一〇五―〇〇一一
東京都港区芝公園一丁目三番一号
留園ビル三階
電話〇三―六四〇三―〇五六一（代表）
FAX〇三―六四〇三―〇五六七

SYMUNITY GROUP
代表取締役
武仲 秀晃
あけまして
おめでとう
ございます
SYMUNITY website
SYMDIRECT　TAKENAKA　ARK Ventures
Tasc Service　TEPWS

代表取締役
髙瀬 真尚
入札王
入札・落札情報
源流データベース 予算書・予定情報
提供サービス
株式会社ズノー
〒106-0044
東京都港区東麻布 1-5-2
ザイマックス東麻布ビル 8F
tel:03-6441-0332
http://www.nyusatsu-king.com

新聞・書籍・雑誌
カタログ・チラシ・パンフレット等
総合印刷
情報印刷株式会社
〒102―0072
東京都千代田区飯田橋四―一一―二
電話〇三（三二六二）五七四〇（代）
FAX〇三（三二六四）一〇〇五
E-mail:info@johopt.com

本紙記者座談会

地上波テレビ21年への課題

2020年の地上波テレビには、今世紀最大の激震が走った。コロナ禍による番組への影響、視聴者の映像情報の消費パターンの変化、そして広告収入の激減だ。テレビ広告費は、17年から減少傾向にあったが、コロナ禍でその勢いが一気に増した。この広告問題を筆頭に、数年前から課題となっていたテレビ界の構造改革は、いよいよ待ったなしとなっている。過去1年を振り返り、放送担当A、メーカー担当B、通信担当Cの3人で放送業界を深掘りする。

変わる映像情報の消費

★コロナ禍の1年

A　放送界20年の最大のニュースはやはりコロナ禍だ。出演者やテレビ局職員にも感染者や死者が出たし、番組制作自体に大きな影響が出た。そして視聴者のテレビの見方も変わったし、最も重要な広告主の出稿姿勢が変わってしまった。

B　社会の変容ぶりは驚きだ。メーカー的に言えば、これで放送局との向き合い方を大きく変えられるという側面はあると思う。

C　通信業界はコロナ禍以外にも、携帯料金の大幅値下げで大騒ぎの1年となった。これはまだ現在進行形だが、問題は単なる料金問題ではなく、電波行政が変わる可能性が出てきたという点で、これはテレビ局も含めた話になる。

A　ほかにもBSデジタル20周年とか、NHKの受信料問題など、20年はエポックメイキングな話がいろいろあった。でもこれらも、コロナが関係している部分も少なくない。コロナが一変させた業界の変化。切り口はいくつかあるが、まずはテレビの視聴実態から考えてみよう。

★TVの見られ方に変化

C　コロナで「リモートワーク」「ステイホーム」「新しい生活様式」などの言葉が流行したように、人々の在宅起床時間が格段に増えた。通信の世界でも、9月のPC出荷台数が前年比1・6倍に急伸している。テレビの見られ方も変わっただろう。

A　確かに緊急事態宣言が出た4月は視聴率が大きく上昇した。もっとも、好調だったのは、主にニュースや情報番組で、ドラマやバラエティーなどの娯楽系は、ロケや収録ができず、一時新作が作れなくなってしまった。

C　それでHuluやパラビなどの動画サイトが好調だった。ネットフリックスは、昨年9月からの1年で200万も会員を増やし500万を突破している。

B　ほかにも興味深い数字がある。東芝のネット接続テレビでのデータによれば、テレビ放送のライブ視聴時間は、コロナで春に1割ほど増えた。しかし秋には、コロナ前より減ってしまう。でもテレビの利用時間は伸びていて、実はネット上の動画を見る人が増えた。ネットフリックスもそうだが、YouTubeやTVerなどの無料動画も急増している。残念ながら、編成表に沿っているテレビ放送が不利な様相になっている。

A　そのテレビ局も、方針を変えてきた。TVerにキー5局が主体的にかかわるようになったが、何とテレビでも見られるように方針転換した。これまでは放送が見られる機会を奪うのでNGだったが、もはやそんなことを言っている状況ではないということだ。リアルタイムでテレビが見られなくとも、タイムシフトでもよい。その機会を増やし、しっかりマネタイズしていく方向に180度方針を変えた。

★厳しい広告費

C　その前提は、19年に広告費がインターネットに抜かれ、20年はコロナで1兆6000億円を切りそうなところまできていることがある。

A　そのとおりだろう。20年2Q（7―9月）は、キー5局の広告収入計が前年同期比で2割強のマイナスだった。3Q（10―12月）も16％減。実は4Q（1―3月）も秋改編でタイム広告が大幅減の局がある。またコロナ第3波で、スポットの回復も遅れている。1・6兆円どころか1・5兆円を下回る可能性も出てきている。

B　そうなるとより厳しいのがローカル局だ。コロナでインバウンドや観光・飲食関連が厳しい状況だから、地方局には全国区の広告主のほか、地元企業もCM出稿を見合わせざるを得ない。今後は経営がかなり厳しくなる局も出てくるだろう。

A　そこが問題だ。しかも今後は、マスターや中継局設備の更新などもある。コストをまかなえないエリアも出てくる可能性がある。

C　NHK問題も押さえておかないといけない。菅政権になって以降、武田総務大臣は「1に携帯料金の値下げ、2がNHK問題」と周辺に漏らしている。

★NHKに厳しい要求

A　昨年1月に前田晃伸会長体制となったNHKは、夏に経営計画（21―23年度）を発表し、「スリムで強靭」を掲げた。電波の数を減らすことにも言及している。昨年10月に受信料を値下げしたが、過去8年、年間の出荷台数が500万台前後と、かつての半分ほどに減ってしまっている。

A　ということは、かつて一家に2・4台あったテレビが、一家に1台に向かい始めているということだ。

B　そのとおりで、リビングで家族そろって見るテレビは買い替えても、子供部屋や書斎などの2台目は、スマホやタブレットで十分という家庭が増えた。

C　しかもリビングのテレビも、新しいものは7―8割がネット接続されるようになっている。つまりテレビは、テレビ放送を見るためだけじゃなく、ネット上のコンテンツを楽しむための端末になってきたということだ。

★情報インフラ再考

A　テレビが放送とネットの両方の端末になったわけだが、実は送り手から受け手に届けるまでのインフラも放送・通信融合を考えた道もあると思うのだが、その可能性はどうだろうか。

C　5Gの登場で、そこも視野に入ってきた。既に過疎地における共聴施設の老朽化対策や、古い集合住宅での新4K8K衛星放送の視聴環境整備で、ローカル5G技術を活用する研究が始まっている。放送インフラで更新するより、簡便かつ低廉に実現できる手法だ。

A　先ほど触れたように、地デジのネットワークは、今後10年で更新期を迎えるものが多い。ところが広告収入が減ったローカル民放は、小規模中継局やミニサテの費用を用意できない。ここを放送・通信融合でまかなえれば合理的だ。

C　電波行政の視点で言っても、放送の中継局数を減らせられれば、現在、地デジが使っているUHF帯は一部通信に回せる。つまりキャリアにもメリットがあるから、IP網で代替できる中小の中継局を、放送・通信融合型インフラとし、活用の幅が広がる5G／6G用の帯域をねん出する。

A　要は放送で重複が増えたインフラを整理し、コストを支えられなくなった放送網を融合型で代替し、合理的な新システムを構築すれば、新たな可能性が出てくるということだ。

C　最初に着手された携帯料金の値下げは、ドコモの子会社化とセットだった。これも見方によっては、インフラの整理・統合への第一歩だ。合理的なシステムで各プレイヤーが活性化し、GAFAなどとの競争力をつける。そんな思惑が透けて見えるがどうだろうか。

B　なるほど。長く言われていた構造改革が、コロナを機に一挙に動き出す予感がしてきた。

C　それに比べてわれわれの紙媒体は進化を果たせるのか。このままでは取り残され、生き残れない。紙媒体こそ大きな岐路にある。

BSデジタル20周年・新4K８Ｋ２周年の発表会。BS放送に新規参入する3社と4K放送に参入するWOWOWの社長が登壇した

テレビは放送とネット両方の端末に

中小中継局を融合型で代替

システム構築で新たな可能性

構造改革が一挙に動き出す

TVerもテレビ視聴可能

謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和3年新年

音と映像のプレゼンテーター
HIBINO
THE SOUND & VISUAL SPECIALISTS
ヒビノ株式会社
代表取締役社長
日比野　晃久
〒108-0075 東京都港区港南3-5-14
TEL:03-3740-4391
https://www.hibino.co.jp/
東証JASDAQ（ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ）証券コード:2469

ENTERTAINMENT LIGHTING SPECIALIST
株式会社　東京舞台照明
代表取締役
柳瀬　敏実
〒135-0015 東京都江東区千石１丁目 14-21
TEL03-5653-5430
www.tokyobs.co.jp

TREE
Digital Studio
株式会社 TREE Digital Studio
代表取締役社長　足立 晋一
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 5-6-6
TEL：03-5447-5004　FAX：03-5447-5014
www.tdsi.co.jp

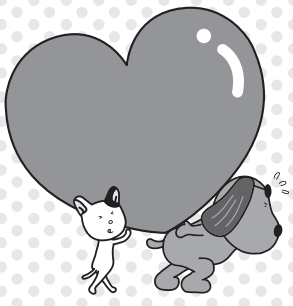
放送業務撮影機器レンタル
HIBINO
ヒビノベスコ株式会社
代表取締役
中島　義人
東京都江東区東雲2-9-23
TEL 03-6457-2371
FAX 03-6457-2373
http://www.besco.co.jp

株式会社 ハーフ エイチ・ピー スタジオ
代表取締役社長
南　沢　道　義
〒151-0063
東京都渋谷区富ヶ谷1-3-4
BOF２代々木公園
TEL｜03-3485-7778（代表）
FAX｜03-3485-7779
www.half-hp.co.jp

JCTA
一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟
理事長
渡辺克也
〒104-0031
東京都中央区京橋一―十二―五
京橋YSビル四階
電話　〇三―三五六六―八二〇〇
FAX　〇三―三五六六―八二〇一
URL　http://www.catv-jcta.jp

NICCABI
Rack System
ニッキャビ株式会社
代表取締役　社長
寺　林　英　明
〒211-0051
川崎市中原区宮内2-5-8
TEL(044)766-2111
FAX(044)777-9000

学校法人
東放学園
理事長
斉藤　晃
東放学園専門学校
東放学園映画専門学校
東放学園音響専門学校
専門学校 東京アナウンス学院
東放学園高等専修学校
▼求人総合窓口
キャリアサポートセンター
〒151-0071　東京都渋谷区本町3-40-6
TEL.0120-375-099　FAX.0120-375-033
https://career.tohogakuen.ac.jp/

まごころ
こめて、
届けよう。

フジテレビ

harmonic
ゼネラル・マネージャー
田代 陽介
Harmonic Japan 合同会社
〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町3-7-6
茅場町スクエアビル 5F
TEL: 03 5614 0522 代表
FAX: 03 5614 0523
www.harmonicinc.com

JLabs
Japan Cable Laboratories
一般社団法人 日本ケーブルラボ
理事長　田﨑　健治
〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町三丁目4番2号
KDX茅場町ビル３階
TEL　〇三―五六一四―六一〇〇
FAX　〇三―五六一四―六一〇一
URL　http://www.jlabs.or.jp/

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会
会長　清原克明
副会長　藤森基成
103-0027
東京都中央区日本橋一―一七―一二
日本橋ビルディング二階
電話（〇三）五二五五―六二〇一

TFC
東北新社
株式会社
東北新社
〒107-8460
本社／東京都港区赤坂 4-8-10
TEL.03-5414-0211(代表)
http://www.tfc.co.jp

Break time
代表取締役　堀内　明
取締役　津田欣吾
有限会社 ブレイク・タイム
〒241-0822 神奈川県
横浜市旭区さちが丘 75-1
リバーサイドシオン１階Ａ号室
TEL 045-362-8296

代表
清原康弘
Visual Graphics Inc.

JCTEA
一般社団法人 日本CATV技術協会
理事長　内田茂之
〒160-0022
東京都新宿区新宿6-28-8
ラ・ベルティ新宿6F
電話番号　〇三―五二七三―四六七一
FAX番号〇三―五二七三―四六七五
https://www.catv.or.jp/

JPPA
一般社団法人
日本ポストプロダクション協会
会長　三上信一
副会長　鈴木仁行
副会長　古迫智典
専務理事　竹井直哉

株式会社
日放
代表取締役社長
栗田晋作
151―0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷三―三二―一
電話（〇三）三四〇二―九四九一（代）

展望2021

ディスプレー業界　新技術が躍進

コロナ禍が席巻した2020年であったが、ディスプレー業界も大きな影響を受けた。企業の業績に影響したため、多くのディスプレー関連企業が開発費を削減し、市場の伸びも期待できないことから、新製品の発売は例年より少なかった。展示会もリアルには開催されなかったために、新製品の発表の場も減った。このような状況ではあるが、それでも大型ディスプレー製品を中心に新製品や新技術の発表もあった。2021年のディスプレー業界を展望する。

（杉山平和・ディスプレー評論家）

2020年10月20―23日にオンラインで開催された「CEATEC 2020 ONLINE」において、シャープが出展した『透明ディスプレー パーティション』が、「CEATEC AWARD 2020」のニューノーマルソリューションズ部門でグランプリを受賞した。

受賞製品は、31・5V型というパーティションに適したサイズ感に加え、60%以上の光の透過率を持つ液晶パネルを新規開発したことで、高い透明性を実現した。病院や公共施設の受付、オフィスなどのシーンにおいて、人と人との物理的な距離の確保による感染症対策に用いるだけではなく、ディスプレーならではの情報表示や映像演出、調光（遮光・採光）など、新たな価値を付加したソリューションとして活用できるという。

注目される透明・透過タイプ

デジタルサイネージが拡大　コロナ対策向け製品も登場

またパナソニックは、新開発の次世代ディスプレーとして55型の透明有機ELディスプレーモジュールを商品化し、20年12月から販売を開始している。

透明ディスプレーは、背景が透けて見えることで、空間を遮断せずに周囲の環境に溶け込み、実物に重ねて映像を表示するなど多様な表現が可能なため、空間価値を高める次世代の映像表示デバイスとして関心が高まっている。

市場については、汎用性の高いモジュール仕様によって提供することで、住宅のみならず、商業、交通、公共施を設含め、さまざまな場所に柔軟に設置することができ、複数枚接合による大画面表示も可能という。

5G（第5世代移動通信システム）など、通信インフラの進化やコンテンツの多様化も加速する中、新たな映像表現が可能な透明ディスプレーへの期待の声が多く寄せられたことを受け、今回の商品化に至ったとしている。

シャープが開発中の8K対応液晶ディスプレーを使った超高精細液晶モニター

このような透明ディスプレーが昨年のディスプレー製品では1つのトレンドとなった。LEDでも透過型の大型ディスプレーの市場が伸びており、今年はこのような透明、もしくは透過型のディスプレーが、さらなる新技術を擁して市場に登場する可能性が大きい。

●高まる8K製品の需要

シャープは昨年11月2日と4日に、東京都港区の同社東京事業所で「8K関連機器展示会」を開催。「8K＋5Gエコシステム」を積極的に展開している同社は、各種の8Kソリューションを発表した。

世界最大級の120V型8K液晶ディスプレー「8M―B120C」は、横265・72㌢㍍×縦149・47㌢㍍の大画面だ。これまで100型を超える8Kディスプレーは、プロジェクターか画面を複数組み合わせたマルチビジョンが主流だったが、シャープの新製品は1枚ものの直視型ディスプレーで8K表示を可能とする画期的なものだ。

同製品は、店舗やショールームなどの商業施設におけるデジタルサイネージとして利用でき、オフィスでの設計図やデザインレビュー、自動車や住宅、家具などの大型製品の図面や映像を、大画面で細部まで確認できるという。絵画や彫刻などの美術品のデジタル展示や、パブリックビューイング用ディスプレーとしても提案していく。

試作ではあるが、31・5V型の8K対応の液晶ディスプレーを使ったキャリブレーション機能などを備えたデザイン・設計用途などの超高精細液晶モニターも注目された。

「シャープの液晶はこれまではVA方式が主力だったが、この開発品では視野角度に優れたIPS方式の液晶ディスプレーを開発した。デザイン・設計用途などのモニターはIPS方式が主流で当社では8Kでこれを実現した。この開発の先には放送局などで利用されるマスターモニターの開発も視野に入れている」とシャープの説明員は話していた。

今夏に開催予定の東京五輪に伴う8K放送の拡大が期待される。8K放送が普及すれば、番組の制作現場でも8K対応のマスターモニターのニーズも増すことになる。

●検温システムを搭載

英国系市場調査会社オーバムのシニアディレクター、氷室英利氏は「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の自粛や人の移動の制限で、2020年はパブリックディスプレーセットの出荷を大きく減らすこととなった。ただしプロジェクト対応は中止ではなく延期も多く、21年以降は徐々に再開の可能性が高い」と説明する。

ビズライトが開発したコロナ禍対応のサイネージシステム

コロナ禍で人の流れが変化しても、デジタルサイネージ（サイネージ）の意義は変化しない。ただ環境に合わせてコンテンツや見せ方が常に変わっていくという。

「例えばセンサーやカメラと組み合わせて、〝密〟を避ける、サーモグラフィーと組み合わせて体温が高い場合にアラームを出すなど、新しいサイネージの使い方が模索されている。新しい需要、新しい価値は常に生まれているので、『ピンチはチャンス』ととらえたい」と述べている。

実際に検温システムを組み込んだサイネージの市場は急拡大している。駅や空港、医療機関、商業施設などで普及が進んでいて、コロナ対策が本格化する今年は、さらに画期的な新製品の登場があるだろう。

コロナ対策対応のデジタルサイネージ（サイネージ）として、ビズライト・テクノロジー（ビズライト）は小売店舗での3密（密閉・密集・密接）を防ぐため、AIで混雑状況を掲出し、入店者数を制御するAIサイネージの提供を食品スーパーなどで展開している。

ビズライトの田中博見社長は「買い物客と従業員の安全を守るために、AIセンシングによって店内の混雑状況を入り口に設置した液晶ディスプレーにリアルタイム表示し、入店者数を制御する仕組みを構築した。これにより店内の3密を回避し、感染リスクの低減を図っている」と話している。

このようなサイネージが全国で普及が進んでいる。今年のディスプレー業界においては。コロナ対策機能を搭載した製品がさらに進化していくことになるだろう。

謹んで新年のお慶びを申し上げます　令和3年新年

株式会社 都通信
20th anniversary
代表取締役
都甲貴之
〒531-0072
大阪市北区豊崎5丁目2番13号
TEL06－6377－0385
全国どこでも施工はお任せください。
詳しくはこちら
https://www.miyakotsushin.com

MIHARU
ミハル通信株式会社
代表取締役社長
中村俊一
〒247-8538
神奈川県鎌倉市岩瀬一二八五
電話（〇四六七）四四一九一一一
FAX（〇四六七）四六一一六一一五
@かまくら

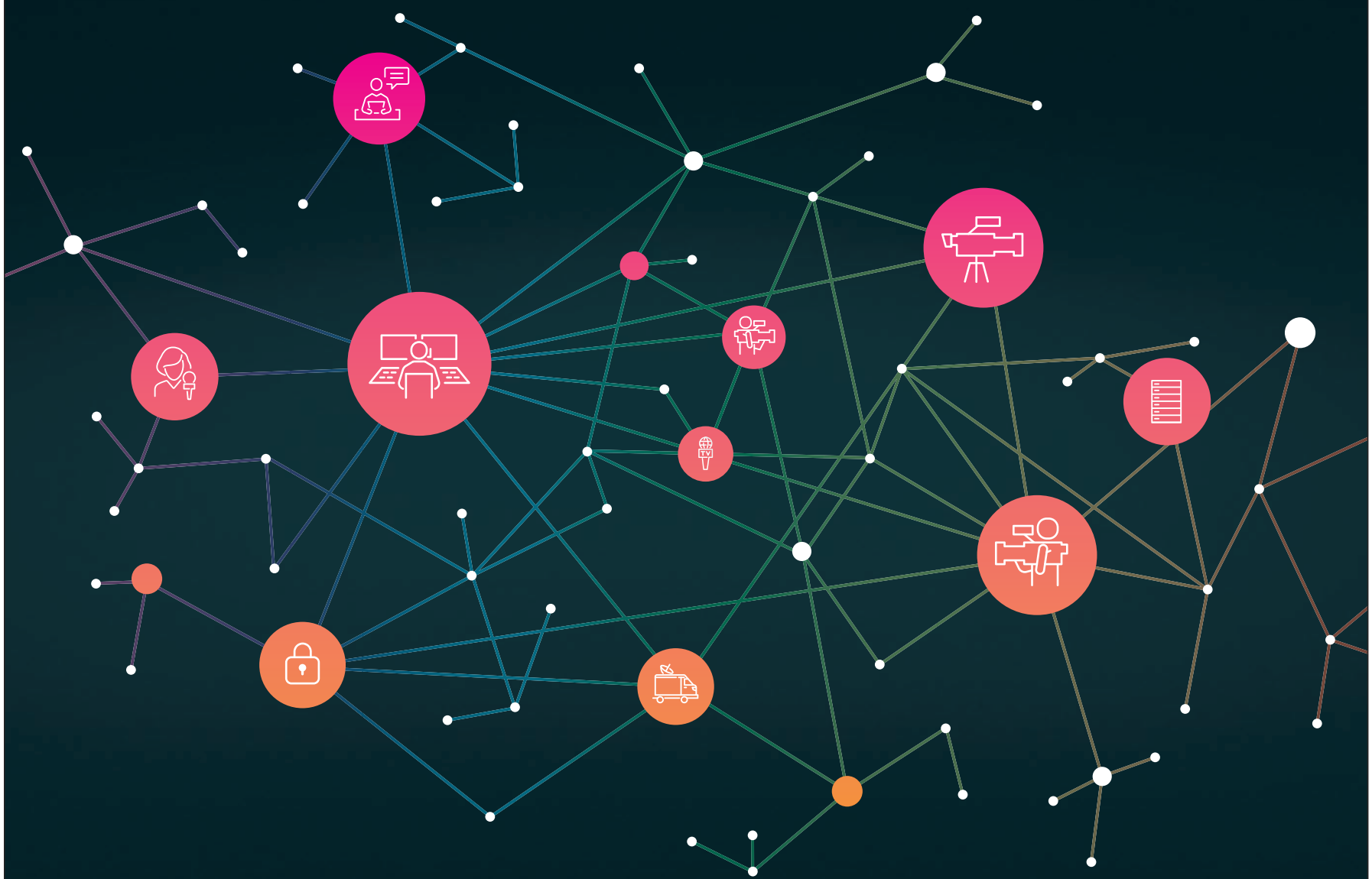
Mitomo
DESIGN YOUR PICTURE
三友株式会社
代表取締役社長
藤森基成
〒141-0022
東京都品川区東五反田1-2-33
白雉子ビル9F
TEL 03-6408-1450
FAX 03-3440-7755
www.mitomo.co.jp

FOR.A
50th Anniversary
Find Your Next Innovation
株式会社 朋栄
代表取締役社長 清原 克明
東京都渋谷区恵比寿 3-8-1
TEL：03-3446-3121
www.for-a.co.jp

代表取締役社長
三雲 薫
mikumo kaoru
TOTAL MEDIA PRODUCE
テレビ朝日グループ
株式会社 文化工房
〒106-0032 東京都港区六本木 5-10-31
TEL03-5770-7111 FAX 03-5770-7103

SONY

距離も、時間も、設備も越えてつながる。
放送制作の次世代型ワークフロー
IP Liveプロダクションシステム。



IP Live Production System

IP Liveプロダクションシステムは機器やスタッフなど、さまざまなリソースを距離の制約から解放。柔軟な配置を可能にすることで、効率的なライブ制作環境を実現します。

放送制作にITで革新を、ソニーならワンストップで。

ソニーのプロフェッショナル/業務用映像制作機材の情報は sony.jp/pro-cc/

広告掲載商品に関するお問い合わせは 業務用商品相談窓口［フリーダイヤル］
0120-580-730 受付時間：9:00～18:00（土・日・祝日・弊社休業日は除く）

Sony Business Solutions Corporation
ソニービジネスソリューション株式会社

◎ソニーおよびSONYは、ソニー株式会社の登録商標です。

展望2021

新たな局面迎える大型映像業界

2020年はコロナ禍で大型映像業界も多難な1年であった。中でもイベント業界の影響は多大で、ライブコンサートや展示会、スポーツ大会など大型映像を頻繁に利用していた多くの場面が、一気に減少した。中でも昨年夏に開催が予定されていた東京オリンピック・パラリンピックの延期のインパクトは大きかった。今年は無事に開催されるのかどうかが、イベント業界や大型映像業界が活性化する命運を握ると言っても過言ではないだろう。

（川田宏之）

2016年のブラジル・リオデジャネイロ夏季五輪では、72台35会場に大型LEDディスプレーが設置され、スポンサーであったパナソニックの大型映像装置が活躍したが、パナソニックは東京五輪のスポンサーにもなっている。東京五輪でもパナソニック製の大型LEDディスプレーが多数利用される予定だ。

コロナ禍もあり、開閉会式の演出は縮小予定という。当初予定されていた狂言師の野村萬斎氏責任者の7人の演出チームは解散し、当初はパラリンピックの演出統括だったクリエイティブディレクターの佐々木宏氏が新たな総合統括となった。野村氏は大会組織委員会のアドバイザーに就任した。

佐々木氏は、リオデジャネイロ五輪の閉会式で実施された東京への引き継ぎ式で、安倍晋三前首相がマリオに扮（ふん）するイベントを企画したスタッフの1人。白血病から復帰した競泳の池江璃花子選手を抜てきし、昨年7月23日に国立競技場で開いたイベントの演出も手掛けた。規模縮小の中でも、どのような素晴らしい演出を見せてくれるのか楽しみである。

◆鉄道会社の導入増加

JR東日本は、今春の予定で新宿駅の東西自由通路に壁面大型LEDビジョンを新規に設置する。大型LEDビジョンは幅45・6㍍×高さ1・7㍍の規模で、駅構内としては国内最長クラスのLEDビジョンとなる。

五輪で市場の活性化期待
eスポーツ施設に新需要

鉄道駅では最近、超大型のLEDディスプレーを新設するケースが増えている。ギネス申請をした大阪メトロの御堂筋線梅田駅の巨大LEDビジョンをはじめ、東急渋谷駅、小田急新宿駅、京王新宿駅、JR大阪駅など筆者も数多くの鉄道駅の大型LEDビジョンを取材してきた。

広告媒体としての運用に加えて、空間演出・イベント連動・災害時などの情報発信などの用途もあり、今年はこのJR新宿駅のような事例がさらに増えていくものと期待される。

◆eスポーツが拡大

北海道旭川市は、今年1月にeスポーツ競技場「コクゲキ」をオープンさせる。「コクゲキ」では5G（第5世代移動通信システム）やローカル5Gの通信環境を構築する。複数のプレーヤー同士による遠隔競技や、高速・低遅延なデータ通信などについて実証実験を実施する。eスポーツ競技場会場には大型ビジョンも常設する予定だ。

サードウェーブは、徳島県内の高校eスポーツ「eスポーツによる地方創生 徳島プロジェクト」連携協定に参画し、四国大学・四国大学短期大学部、阿南工業高等専門学校とともにeスポーツを通した地方創生を目指す。

コロナ禍でもできる競技として昨年もeスポーツは脚光を浴びたが、今年はこのような地方と連携したeスポーツの施設がさらに多く登場することが期待される。

ルネサンス高等学校は、茨城県久慈郡大子町発祥の私立の通信制高等学校である。運営はIT・通信・放送関連企業のブロードメディアが担っている。同校ではeスポーツにもいち早く取り組んでおり、eスポーツの専門課を同校が国内では初めて設置している。

ブロードメディア取締役執行役員教育サービス本部長の桃井隆良氏は「eスポーツの大会も年々盛んになっていて海外では億単位の賞金の大会も増えている。当校でも多くのeスポーツ大会にクラブ活動の一環としても出場して好成績を収め、プロを目指す卒業生も多い。既に国体やアジア大会では通常のスポーツ同様に競技として採用されているが、2024年のパリ五輪ではeスポーツの競技も実施される可能性が高い」という。

大規模なeスポーツの施設には、大型映像は必須。まして五輪種目になれば、よりeスポーツは日本でもさらなる発展が期待できそうだ。

◆好調の公営競技市場

コロナ禍にあって売上高のレコードを更新し続けている業界がある。それは競馬、競輪、ボートレース、オートレースなどの公営競技の市場だ。

昨年11月29日に、東京・府中の東京競馬場で実施されたJRA（日本中央競馬会）のジャパンカップでは、人気のアーモンドアイが引退レースを制したが、同レースの売り上げは272億7433万4600円で、前年の184億8670万7600円から大幅に増加した。

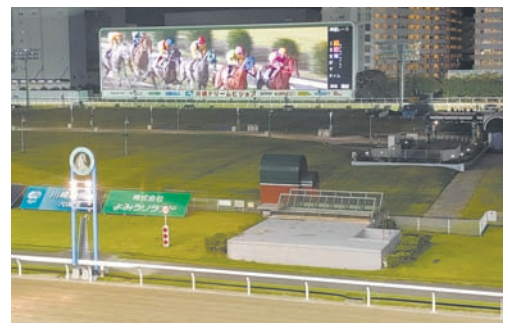
コロナ禍により競馬場への入場制限は続いているが、馬券の売り上げは好調で、2020年は前年を大幅に上回ることは必至だ。競馬に限らずほかの競技でも売上高のレコード更新が相次いでいて、「コロナバブル」ともいわれる状況にある。

コロナ禍でテレワークや巣ごもりが増えて、ネット投票の普及で手軽に在宅でもレースを楽しむことができる公営競技が注目されている。これらの公営競技では、大型映像システムが多数利用されている。公営競技の景気がよければ、設備投資にも回す金額は増えることが想定される。

公営競技場の大型映像システムの新設やリプレースが今年以降増加していくことが期待される。実際にこれらの公営競技場の大型ビジョンを取材してみると、かなり前に設置された大型映像も多く、その多くの解像度はHD（2K）画質以下である。

現状では屋外型でも大型LEDビジョンの解像度は飛躍的に向上している。少なくともHDに対応、先端的なところでは4Kに対応した公営競技場の大型LEDビジョンの登場が期待されるだろう。

大阪メトロの御堂筋線梅田駅の巨大LEDビジョン



川崎競馬場の大型LEDビジョンの画質はHDには満たない

JR東日本
空間演出型の大型媒体
新宿駅に新規設置へ

JR東日本は、1日平均の乗降客数（約370万人）が世界一とギネスブックに認定されている新宿駅（東京都新宿区）の東西自由通路で、国内最大規模となる空間演出型の大型媒体をジェイアール東日本企画と共同で整備すると発表した。

2019年7月19日に開通した東西自由通路に壁面大型LEDビジョンを新規に設置する。大型LEDビジョンは幅45・6㍍×高さ1・7㍍の規模で、駅構内としては国内最長クラスのLEDとなる。21年春ごろに運用を開始する予定だ。

この大型LEDデジタルサイネージのほかにも、天井面への演出照明・音響装置など空間演出型の媒体を整備する。これにより「魅力あふれる新宿のまち情報や各種イベントなどの情報発信」、「日本の地域観光名所の情報発信」、「災害や緊急異常時の情報発信」を実現していくとしている。

大型LEDなどを使った環境演出では、世界トップ級のデジタルアート集団モーメントファクトリー社（Moment Factory）を起用した。モーメントファクトリー社は幅広い分野のエキスパートが1つ屋根の下に集まったマルチメディア・スタジオ。各チームは映像、照明、建築、音響、特殊効果といったさまざまな専門分野を統合し、「人々にとって忘れられない体験を提供する」ことを目的としているという。

西口から見た新宿駅の東西自由通路（2019年11月撮影）。正面の小田急電鉄が設置した大型LEDビジョンの奥の通路両サイド壁面に新たな大型LEDビジョンが設置される

同社は、現在カナダのモントリオールに本社を構え、東京のほか、ニューヨーク、ロサンゼルス、ロンドン、パリ、シンガポールなど世界の主要都市に拠点を構える。

01年の創立以来、オリジナル作品である『ルミナ・ナイトウォークシリーズ』を含めた400以上のプロジェクトを世界各国で展開。ディズニー、マイクロソフト、シンガポールのチャンギ国際空港、韓国・パラダイスシティ、モントリオール・ノートルダム大聖堂、シンガポール動物園、日本ではソニー、吉本興業、安室奈美恵などとの実績がある。

光・音・映像を連動させた従来の駅にはない媒体を用いて、新宿の新たな都市景観を創造するとともに、多様な情報発信を実施するという。新宿をモチーフにしたアートや、時間帯・季節に応じて映像・照明・音響装置を使用した統一感のある演出をすることで、地域の魅力発信と新たな体験価値を創造し、新宿の新しいシンボルとなることを目指す。

ライブ配信の実績を生かす

パンダスタジオTV
コロナ禍で依頼が増加
映像関連事業の範囲を拡大

PANDASTUDIO．TV（パンダスタジオTV／東京都中央区）は、コロナ禍にあっても業績を伸ばしているという。パンダスタジオTVは、日本でテレビ放送が始まった1953年に創業し長年の歴史をもつ東京テレビセンターと浜町スタジオの事業を継承し、パンダスタジオと2016年10月に合併して誕生した。同社の西村正宏社長は「多くのテレビ番組を作ってきた浜町スタジオ、インターネット放送に強いパンダスタジオの強みを引き継いで事業を展開している」と話す。（川田宏之）

西村氏

西村氏はIT業界の出身。業界ではインターネットなどのネット中継に強い会社として知られる。「バスケットボール、バレーボール、サーフィン、ボルダリングなどのプロスポーツ、プロゲーマー大会のeスポーツ、NBA（米プロバスケットボール）の日本語生中継など多くの生中継も担当してきた」という。これらの実績と経験は、コロナ禍によって従来にも増してクローズアップされ、多くのネットライブ配信などの依頼が同社に舞い込んでいるという。

「スタジオレンタル、機材レンタル、大型LEDビジョンのレンタル事業、スタッフ派遣に事業を拡大するだけではなく、撮影用機材の開発・販売、システムインテグレーション、スタジオ工事などの映像制作の前段階、映像の権利を管理する番組のアーカイブサーバーの構築など、事業範囲を拡大し続けている」（西村氏）という。

ネット配信のスタジオ

大型LEDビジョン事業では、コロナ騒動前までは頻繁に中国に足を運んで大型LEDビジョンメーカーなどを視察してきたという。その中で、現在同社が大型LEDビジョンの調達先としてメインに取引しているのが、中国・深圳（シンセン）にあるロケットサインという中堅のメーカーだ。

「レンタル用の大型LEDビジョンはこれまで数社のシステムを導入していたが、現在ではほぼロケットサイン1社に絞って調達している。当社はこの業界では後発ということもあり、大手のようなコロナ禍で影響の多いイベントやライブコンサートなどの仕事はあまりなかったこともあって、コロナ禍の影響は最小限にとどまっている」と西村氏は説明する。

現在のコロナ禍においては、リモートなどで完結するネット配信やネットイベントの業務が増加している。スタジオや機材もこれらのネット系の配信に適したシステムをコロナ禍以前からそろえていた。同社独自のノウハウもあり、スタッフも育っているという。

西村氏は「コロナ以前からネットでの配信のイベントは増えていた。今後も費用面も含めて業界のニーズに応えていきたい」と語っている。

次の目標として、映画館のスクリーンのLED対応を挙げる。

「現在の映画館は大半がプロジェクターを使用した上映が主力だが、これがLEDビジョンになれば映画の楽しみ方が変わり、映画以外のイベントの可能性も広がる。現在では映画館でのLEDスクリーンは、海外の一部地域でしか普及してはいないが、これをぜひ日本で展開していきたい。映画館用の大型LEDスクリーンの開発は、既に中国の某LEDメーカーと協力して進めている。これを新規ビジネスとして手掛けたい」と、西村氏はさらなる事業展開に意欲をみせている。

シャープマーケティングジャパン
「スマートバス停」を開発
YE DIGITALと共同で

シャープマーケティングジャパンは、YE DIGITAL（北九州市小倉北区）と共同で「スマートバス停」を開発。12月中旬からYE DIGITALと西鉄エム・テック（福岡市中央区）が販売を開始した。新製品は近未来のバス停として期待がかかるという。

表示部に反射型のシャープ製「カラーIGZO液晶ディスプレー」を採用。日中は、太陽光で発電して表示できる。直射日光下でも時刻表や案内などをクリアに映し出せる。バックライトも搭載し、外光の少ない夜間でも視認性を確保している。

北九州市小倉の砂津バスセンターに設置された「スマートバス停」

画面サイズは32型で太陽光パネルと蓄電池を搭載し、商用電源に接続することなく設置可能だ。昼間に発電した電気を蓄電池に蓄えるため、日照量の少ない日や夜間でも利用できる。これにより商用電源への接続が困難な郊外などにおける設置性が高まった。

通信機能も搭載し、遠隔操作で時刻表の書き換えも可能。従来型バス停で必要だった、掲示物の張り替え作業にかかる時間やコストを削減することができる。

太陽光で発電　通信機能も搭載

シャープマーケティングジャパンは、西鉄エム・テックやYE DIGITALと協力し、自動販売機能とシャープ製のIGZO液晶タッチディスプレーを搭載した「スマートバス停」の実証実験を、福岡県北九州市で2020年6月26日から展開している。この実証実験の成果を踏まえ、今回の商品化を実現した。

シャープマーケティングジャパンが「スマートバス停」試作機の開発、設置および保守メンテナンスを担当。西鉄エム・テックはバス停運営および保守、YE DIGITALはデジタル表示システムの開発を担った。

4K対応75型ディスプレーを発売
ジャパンネクスト

JAPANNEXT（ジャパンネクスト／東京都千代田区）は、VAパネル採用で4K（3840×2160㌻）解像度を実現した75型ディスプレー「JN-VT7500UHDR」の販売を7日から開始する。

10ワット×2のステレオスピーカーを搭載。インタフェースはHDMI2・0を3ポートに加えUSBポートを備える。PCや映像機器がなくても、USBに保存した画像や映像を表示することができ、デジタルサイネージとしても利用が可能。

5000対1と非常にコントラストの高いVAパネルを搭載し、広視野角は上下左右178度を実現している。

謹んで新年のお慶びを申し上げます　令和3年新年

WOWOW
WOWOW 4K
2021年3月1日放送開始!
代表取締役社長
田中　晃
株式会社WOWOW
〒107-6121 東京都港区赤坂 5-2-20
赤坂パークビル 21F
☎03 (4330) 8111

VISUAL SOLUTION PROVIDER
株式会社レスターコミュニケーションズ
www.restarcc.com
代表取締役社長
尾﨑　享
株式会社レスターコミュニケーションズ
〒141-0001東京都品川区北品川5-9-11
大崎MTビル3F・4F
TEL 03-3445-2070　FAX 03-5449-6672

Ray
代表取締役社長
分部 至郎
Shiro Wakebe
株式会社 レイ
〒106-0031
東京都港区西麻布3-2-30 Rayビル
tel：03-5410-6130
fax：03-5410-6131
http://www.mcray.co.jp/

Leader
代表取締役社長
長尾　行造
リーダー電子株式会社
〒223-8505
神奈川県横浜市港北区綱島東2-6-33
Tel　045-541-2121
Fax　045-541-2120
www.leader.co.jp

ML Media Lease
株式会社
メディア・リース
代表取締役
徳永　一彦
■新橋本社
港区新橋 3-5-10 新三ビル 4F
TEL:03-3593-3811
■赤坂事業所
港区赤坂 5-4-17 SC ビル赤坂 7F
TEL:03-3589-7611
http://www.mlinc.co.jp

パナソニック
ソフトバンクと共同開発
クラウド上で映像制作
撮影から編集まで完結

パナソニックの社内分社であるコネクティッドソリューションズ社は、ソフトバンクと協力して、クラウド上で映像制作を完結できるシステムを共同開発し、地上デジタル放送で共同検証した。

同システムは撮影から制作、編集、配信までをクラウドでシームレスに実行することを定義した概念「Broadcast as a Service」を実現する。

映像制作業界では人材不足をはじめ、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う現場集中型のワークフロー、制作機材のコスト増加の改善を課題としていた。そこで映像技術とネットワーク技術に強みを持つ両社が協力することで、これを共同開発した。

同システムは、ソフトバンクのデータセンターにある映像制作システムに、パナソニックのIT／IPプラットフォーム「Kairos」を導入し、パナソニックの放送用ネットワークカメラでデータセンターとネットワーク接続する。映像をソフトバンクのクラウドサーバーに上げることで、遠隔から操作、編集する分散型のリモートワークフローが実現する。

システムは番組制作で活用された。この番組は2020年12月18日から地上デジタル放送で順次放送された。

フォトロンが販売
リモートワークの支援ツール
編集やVFX制作で活用

フォトロンは、遠隔地から会社のワークステーションにリモートアクセスできる「フォトロンリモートアクセスゲートウェイ」を発売した。

Teradici社のPCoIP（PC over IP）技術を活用したリモートデスクトップツールであり、TBSテレビと共同開発した。ユーザーは、ウェブブラウザー上のインタフェースから、使用するワークステーションを選択するだけで良い。

ワークステーションの画面とキーボード・マウスの制御信号のみが伝送されるため、映像音声の元データは伝送されない。またVPNの利用と暗号化通信によりセキュリティーを保つ。反応速度や操作性も高く、画面の文字や色再現性も優れる。

価格は、5クライアントライセンスで月額8万8000円（税別）から。初年度100クライアントライセンスの提供を目指している。

デジタル・ガーデン、メディア・ガーデン、TTR、ルーデンスが合併
TREE Digital Studioが4日から営業開始
広告映像制作を中心に事業を多角化

デジタル・ガーデンとメディア・ガーデン、TTR、ルーデンスの4社は、親会社であるAOI TYO Holdings（ATH）のグループ組織再編に伴って合併。1月4日から新会社「株式会社TREE Digital Studio」として営業を始めた。ATHは広告業界の変化への対応を目指しており、ポストプロダクション事業はこのなかで、効率化ならびに既存事業の強化と新規事業の展開を図っていく。TREE Digital Studioの社長に就任した足立晋一氏に、新会社の事業について話を聞いた。

――新会社の概要について。

「TREE Digital Studioは、デジタル・ガーデンを存続会社として4社を合併し、新名称としました。編集、MA、CG制作、機材レンタル、スタジオ運営という各社の業務を生かしながらデジタルコンテンツを制作します」

「TREE Digital Studioという1つの事業体に、撮影スタジオと機材、DITを含めた撮影スタッフ、ポストプロ機能を持ちアウトプットまですべてまかなえます。広告制作業界ではまったく新しい会社であり、約350人のスタッフで運営します」

「社名は、1本の幹からCG制作やポストプロなど各事業体が枝分かれしていくイメージ。各社の名称は既にブランドとして確立しているので、今後はディビジョン（事業部）名として継続することでブランドの維持とさらなる浸透を図ります」

足立氏

――具体的な業務内容について。

「まずは従来同様に広告映像の受託制作をします。ポストプロスタジオは新型コロナによって来社する顧客数に変化があり、事業のかたちも今後の変化が予想されます。新会社ではこれを踏まえて拠点を再構成します。またデジタル・ガーデンのデジタルシューティングとTTRのCRANKが集結し、撮影部門が充実するので、動画配信向けの映画やドラマといった長尺制作も手掛けていきます」

「VR／ARなどのインタラクティブ（xR）制作は、実績の多いTTR MAGICの力を使いながら強化します。各種アプリ開発やクラウドサービスの開発を展開するR&D（研究開発）部門やウェブ動画制作も開始し、事業を多角化していきます」

――ポストプロスタジオはどのような体制とするのか。

「デジタル・ガーデンの2拠点（広尾MTRビル、広尾プラザ）に編集とMAを集め、TTR（PPC）が運用していた1フロアにはCGやインタラクティブ制作を集約。5月に移設を完了する予定としています」

「直近では、カラーグレーディング室1室およびオンライン編集室2室を増設します。Flameは20式以上を運用することになります。MA室は、動画配信に対応できるようドルビーアトモス対応を計2室とします」

「リモートサービス『DGI LIVE』では現在、制作担当者はスタジオに来て、遠隔地にいるクライアントに配信しながら制作を進めるなどの方法が増えてきました。売り上げも順調に伸びており、今後も継続して提供していきます」

――インタラクティブ制作への取り組みは。

「デジタル・ガーデンでは企業のショールームや教育用のVRを制作しました。MAGICはエンターテインメントに近い分野も手掛けており、両社が得意とする分野を引き続き受注します」

「インタラクティブ制作は技術面で勉強することが多く、これまでと顧客も異なります。企業から直接引き合いをもらうこともあり、事業としての伸び代は多いと考えています」

――新会社で特徴的なことは。

「制作をサポートする部署『dp』を立ち上げます。Departure（出発の意）の略となります。海外では撮影に必要な備品を集めるなどさまざまな制作サポートを引き受ける部署があり、これに近いものになる予定です」

「現在の制作担当者はあまりにも業務が多すぎるので、本来のクリエイティブに集中できるサービスを提供します。ただし国内ではなじみのない新しいサービスであり、1―2年間の時間をかけ長い目で育てていきます」

「また、各事業部の営業担当者約25人が集まるプロデュース部門『プロデュースブランチ』を設置します。ここでは毎朝互いの状況を確認し、例えばCG制作を受注した案件があればポストプロ業務の受注状況を確認する。こういったかたちで進めることで各事業部を横串展開します」

「究極的には、撮影からポストプロまで1人のプロデューサーがすべての業務をすることを想定しています。これには1つのジョブに深くかかわることができる利点があります。最初は自分の領域しか分からないかもしれないが、徐々にいろいろなところに手を出していけるのではないでしょうか」

「新会社では人材育成または求める人材として、『スペシャリスト』『インタレスト』『チャレンジ』の3要素を考えています。まずは自分の仕事に集中してスペシャリストを目指してもらい、その後他部門の業務に関心（インタレスト）を持ち、勉強していくなかで新しいことにチャレンジしていってほしい。当社はこういった取り組みを介して、顧客が求める映像を制作できる会社として成長していきたいと考えています」

◆TREE Digital Studio本社＝東京都渋谷区広尾5―6―6広尾プラザ8階☎03―5447―5004

XR制作を強化、ウェブ動画も作成

NHKテクノロジーズ
ポーランドから8Kライブ配信
遅延時間わずか2秒を実現

NHKテクノロジーズは2020年12月9日、同社8K試写室「シアターU」で、スピンデジタルが新開発した8Kエンコーダーによる超低遅延ライブストリーミングデモを公開した。

この実演では、ポーランドの研究機関PSNCから、8K映像をライブで配信し、ベルリンのスピンデジタル社とリオデジャネイロのTVグローボ、東京のNHKテクノロジーズで時間を分けて受信。トータルでの遅延時間を約2秒に抑えながら8K映像を伝送した。

デモの最後には、各地の担当者が参加するビデオ会議の映像を日本から送り、PSNCスタジオのスクリーンにこれを映して再撮するデモを披露した。

NHKテクノロジーズは、PSNCからのライブ中継を2019年のInter BEEでも実演。このときに比べると遅延時間を10分の1程度に短縮したことになる。

映像は、スピンデジタルのソフトウエアエンコーダーで8K 59・94HzのHEVCを作り、Zixiプロトコルで伝送した。映像のビットレートは100―120メガビット／秒。

エンコーダーの低遅延モードとZixiを使うことで、低遅延ながら安定したセキュアな伝送を実現した。ソフトウエアベースであるため配信時の設定調整の自由度が高い利点もある。

受信プレイヤーはアストロデザインの8Kプレイヤー「Tamazone（タマゾン）プレイヤー」を活用した。市販の8Kテレビと組み合わせることで、8K視聴環境を低コストで実現する。国内回線はNuro。

デモを担当したNHKテクノロジーズの和田浩二氏（デジタル開発技術本部開発企画部専任部長）は、「昨年からの課題であった遅延の問題がこれで解消され、掛け合いがほぼ自然にできるようになった。エンターテインメントだけでなくテレビ会議システムや医療分野などにも活用したい。今後は5Gの利用も考えていく」と話している。

デモの様子

各国との掛け合いを実演

PJ総合研究所・ビジネス資料集

PM「プロジェクションマッピング」&BIG LED「高精細大型LED」&DS「デジタルサイネージ」&イベント&事例 導入資料集『2020』

貴重な参考書!

・編集&発行：PJ総合研究所／2020年3月31日発行
取材／川田宏之（大型映像評論家）、PROJECTORS編集部
・販売：（有）エーブイシー
・予定ページ数：約128ページ
・販売価格：8,100円／冊（税込、送料160円要）
電書5,800円（税別）

＜主要記事＞

★ トピックス／PM、BIG LED、DSが活躍する!
シリコンコア／フォーラムエイト／ダイナスキャン／富士フイルム／シャープ

● プロジェクションマッピング：予算、事業主体、レンタル会社、使用プロジェクター、システム構成など網羅

● BIG LED：導入場所、価格、事業主体、使用ディスプレイ、システム構成など網羅

● デジタルサイネージ：導入場所、価格、事業主体、使用ディスプレイ、システム構成など網羅

● イベント&事例：タイムリーな事例中心の紹介

発行形態: 導入資料集（2020年版）、印刷本&電書（電子書店併売）
編集形態: 掲載の事例は1ケ所を見開き2ページ（カラー）で紹介

※ 発行の狙い ※

2020年版「プロジェクションマッピング」、「BIG LED」、「デジタルサイネージ」、「イベント&事例」5つを1 冊にまとめた導入資料集2020です。本誌は2014年から資料集年鑑として発行しているもので都合7冊目になります。いずれも実践例、費用などを他では得られないデータを掲載し、大変好評です。PM、BIG LED、DSなどは導入場所、価格、事業主体、使用ディスプレイ、システム機器&構成などを詳しく紹介しております。これから手掛けようとする事案のある関係の皆さまは、各種映像システムの設計と手法、効率的運用、設置性、受注方法などの資料が入手できることからも、見過ごせない貴重な参考書です。

映像新聞のサイトから、もしくは必要事項をご記入のうえFAXにてお申し込み下さい。

www.eizoshimbun.com　　FAX 03-3942-2581

お申し込み&お問合せ／映像新聞社 TEL 03-3942-2161 info@eizoshimbun.com　　発送／（有）エーブイシー TEL 070-6655-7886

PJ導入資料集2020 購入申込書

必要部数：　部	ご住所：
御社名：	
部署名：	TEL
お名前：	E-mailもしくはFAX

JR東日本大宮支社

大型4面マルチビジョン

大宮駅で4システムが稼働

デジタルサイネージなど多くの大型映像装置が随所で稼働しているJR大宮駅（さいたま市大宮区）構内において、昨年11月上旬から大型液晶を使った4面マルチビジョン（シャープ製）が新たに4式設置され、各種の情報を発信している。

これはJR東日本大宮支社が、大宮駅利用客に対してリアルタイムな情報を効率的に伝えることを目的に設置した。

新幹線改札の天つり設置タイプ

在来線改札の自立設置タイプ

大宮駅は、5方面に伸びる新幹線のほか、多くの在来線が乗り入れており、1日に約25万人の利用者がある。輸送障害が発生した際に乗降客のさまざまなニーズに応えることができるよう、列車の遅延情報や振替輸送の詳細な情報を一斉に表示する。

大型ディスプレーで表示することで、駅利用者に必要な情報を簡単に知得できるようになり、視認性向上を図った。さらに、大宮駅で開催されるイベント情報や観光情報、駅周辺の情報も伝えている。

マルチディスプレーは、新幹線改札2カ所に天つり設置タイプを設置。さらに在来線改札2カ所に自立設置タイプを設置し、合計4カ所となる。

大型ディスプレーの掲出内容は列車遅延の情報、振替輸送などに加えて、大宮駅のイベント（地域の連携）、観光情報などを随時放映している。

なお広告ボードではないため、一般企業の広告などは放映していないという。

東京タワー・展望台

4K大型LEDを常設

マッピングイベントも

2019年9月26日にリニューアルオープンした東京タワー（東京都港区）の展望台1階のメインフロアには、260型の4K対応大型LEDビジョン（レスターコミュニケーションズ納入、シリコンコアテクノロジー製・1・5ミリメートルピッチ）が常設されている。上映映像は、東京タワーの歴史や東京・江戸文化に関するコンテンツなど。

4K対応の260型LEDビジョンを熱心に見る人たち

プロジェクションマッピング用のプロジェクター

メインデッキ2階においては、午後6時以降に東京の夜景に溶け込むプロジェクションマッピング上映イベントを、昨年11月9日から今年2月28日までの期間で実施。展望台への入場料のみでマッピングも楽しめる。

今シーズンは、村松亮太郎氏（ネイキッド代表）によるアートプロジェクト「Breath／Blessproject」とコラボレーションし、『Dandelion』と題した、タンポポをモチーフにしたインスタレーション作品が連日上映されている。

HY-システム

検温システムと一体化

液晶サイネージ装置発売

コロナ禍に対応　導入が進む

HY―システム（ハイシステム／本社：京都府久世郡、東京営業所：東京都台東区）は、大型LEDディスプレー、デジタルサイネージなどの製造、販売（輸入販売含む）設置および保守を主業務とする。パチンコ店の外壁面やエントランスなどで数多く見られる、パチンコ店向け大型LEDビジョンの大手ブランドである。

HY―システム東京営業所所長の増井利広氏は「コロナ禍によって、当社の主要顧客であるパチンコ業界も大きな打撃を受けている。パチンコ店は緊急事態宣言が発出された昨年春には、クラスターの危険が多いとして必要以上にメディアでやり玉に挙げられるなど、風評被害に近いものがあった」と話す。

そして「実際にはパチンコ店でクラスターはほとんど発生しておらず、コロナ感染者の増えている現在でも、パチンコ店を指摘する声はほとんどなくなった。当社では全国600カ所以上のパチンコ店にデジタルサイネージや大型LEDビジョンを納入しており、納入後も万全の保守管理体制を敷いている」と説明した。

コロナ禍に対応した新製品としては、検温システムと一体化した液晶ディスプレー付きのデジタルサイネージシステムを発売した。「このシステムは医療機関やパチンコ店、商業施設などに導入が進んでおり、販売は順調だ」（増井氏）という。

さらに大型LEDディスプレーを昨年12月に静岡県浜松市の繁華街ビルに設置したほか、今後新規オープンが予定されている横浜みなとみらいの大手企業のショールームなどにも導入が決まっている。

増井氏と検温システムと一体化したデジタルサイネージシステム

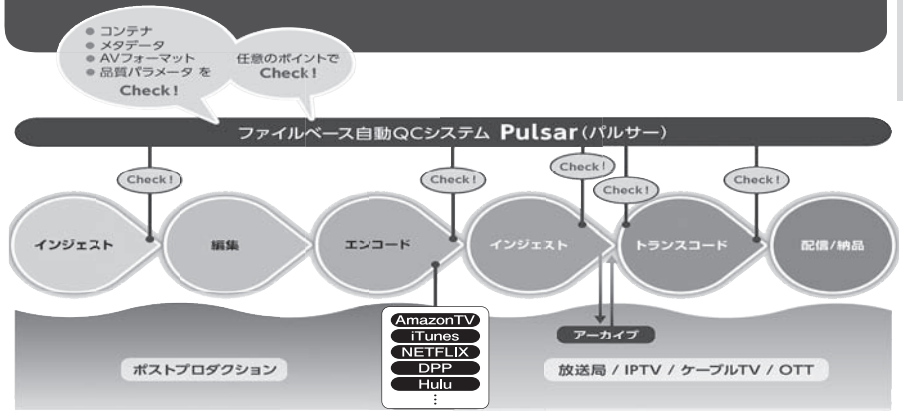
増井氏は「コロナ禍で厳しい面もあるが、大型LEDやサイネージの市場は今後も確実に伸びていくと思う。今後も社会に有用なシステムの開発・提供をしてきたい」と話している。

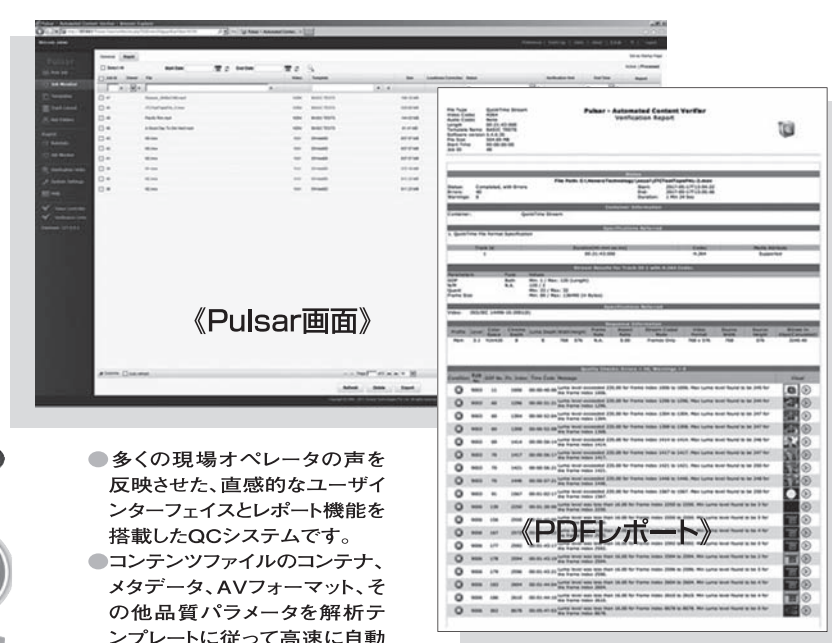
Venera Technologies

ファイルベース自動QCシステム
file-based Automated QC system

Pulsar（パルサー）

さらに拡大するファイルベース制作ワークフローにおいて、大量のファイル取り込みから配信/納品までの各ポイントにおける品質管理は益々重要になってきています。
2003年創業以来、すでに世界で150以上のユーザーの獲得実績を誇る、Venera Technologies社のファイルベースQCシステム「Pulsar（パルサー）」は、豊富な対応フォーマット、独自に柔軟な設定が可能な解析テンプレート機能、オペレータの省力化をサポートする各種自動化機能などを備えた、費用対効果の高い自動QCツールです。




《Pulsar画面》
《PDFレポート》

- 多くの現場オペレータの声を反映させた、直感的なユーザインターフェイスとレポート機能を搭載したQCシステムです。
- コンテンツファイルのコンテナ、メタデータ、AVフォーマット、その他品質パラメータを解析テンプレートに従って高速に自動品質評価します。
- 特定の検証プロセスに適用できるルール/プロファイル/テンプレートを独自に定義できます。
- ハーディングPSE解析エンジンをオプション追加可能です。

ITOCHU
伊藤忠ケーブルシステム株式会社
クロスメディアソリューション本部 TEL.03(6277)1854
〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-20-14　高輪パークタワー

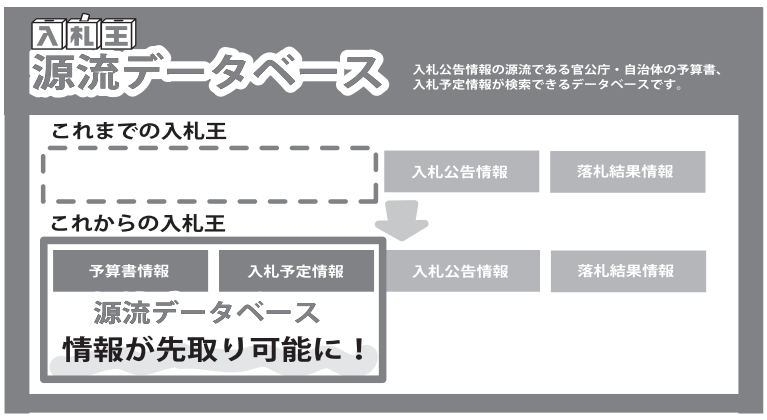
映像入札王のご案内

入札情報提供サービス

映像新聞社では、株式会社ズノーと業務提携し、同社の展開する入札情報提供サービスと連携した「映像入札王」を提供いたします。

入札王に国内唯一の新サービス登場！

源流データベース「予算書・予定情報」で入札を先取り！



映像入札王とは？

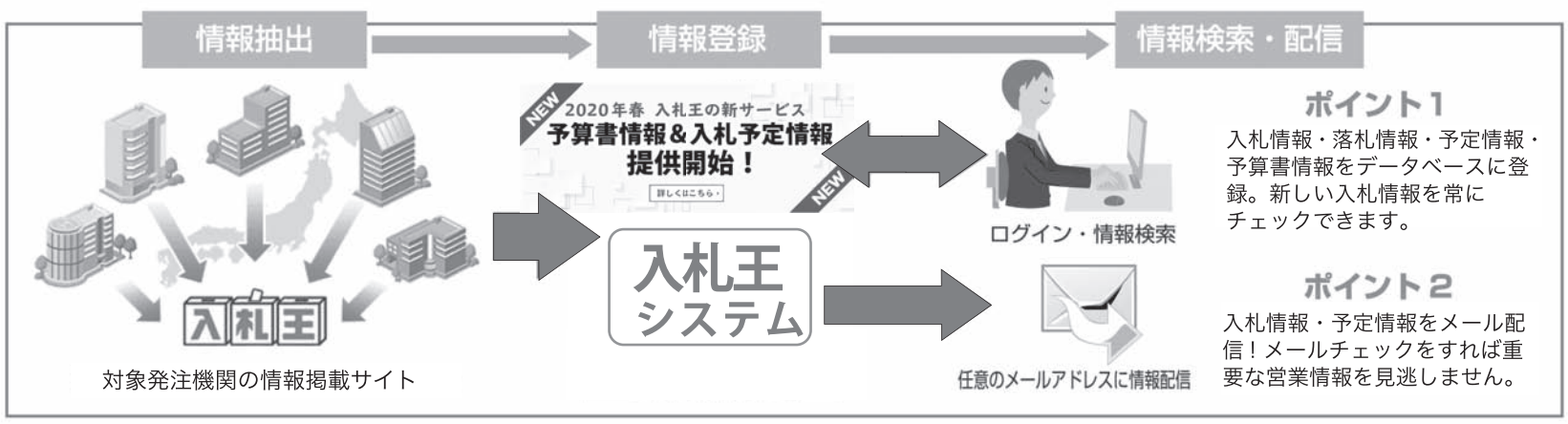
中央省庁、独立行政法人、地方自治体等の入札情報・落札情報・予定情報・予算書情報を提供するサービスです。
映像制作・関連機器、ホームページ制作、広告制作、情報処理、調査等あらゆる分野の最新の入札情報を毎日ご提供します。

その特長は

1　業界最大級の網羅性
・全国の発注機関（入札情報 7,500 機関以上）を網羅。

2　横断的、一括した情報を抽出
・統一データベースを構築、類似団体の情報も横断的に抽出

3　多様な検索機能を準備
・発注機関別（中央省庁、自治体別、独立行政法人別）
・都道府県別、人口規模別、業種別
・会計区分別（一般、特別）、予算区分別（当初、補正）
・キーワード（フリーワード）等



10 日間 お試し
無料トライアル実施中

トライアル期間で入札王の
効果を実感してください

http://www.eizoshimbun.com

上記 URL からのエントリーで割り引き適用となります

『映像新聞』購読の方は、下記料金から 5%引き（基本サービスのみ）

《サービス利用料金》　－－－－：ご契約パターン

■①入札・落札情報検索（基本サービス）

発注地域の選択	契約期間 6 ヶ月	契約期間 12 ヶ月
3 都道府県	¥55,000	¥95,000
5 都道府県	¥88,000	¥155,000
10 都道府県	¥163,500	¥290,500
20 都道府県	¥243,000	¥434,000
30 都道府県	¥272,000	¥473,000
40 都道府県	¥291,250	¥502,500
47 都道府県	¥300,000	¥520,000

■②予算書情報検索（オプション）
■③予定情報検索（オプション）
それぞれの料金

発注地域の選択	契約期間 6 ヶ月	契約期間 12 ヶ月
3 都道府県	¥20,000	¥36,000
5 都道府県	¥27,000	¥48,000
10 都道府県	¥44,500	¥78,000
20 都道府県	¥79,500	¥138,000
30 都道府県	¥114,500	¥198,000
40 都道府県	¥149,500	¥258,000
47 都道府県	¥174,000	¥300,000

■①＋②　あるいは　①＋③

発注地域の選択	契約期間 6 ヶ月	契約期間 12 ヶ月
3 都道府県	¥75,000	¥131,000
5 都道府県	¥115,000	¥203,000
10 都道府県	¥208,000	¥368,500
20 都道府県	¥322,500	¥572,000
30 都道府県	¥386,500	¥671,000
40 都道府県	¥440,750	¥760,500
47 都道府県	¥474,000	¥820,000

■①＋②＋③

発注地域の選択	契約期間 6 ヶ月	契約期間 12 ヶ月
3 都道府県	¥87,000	¥152,600
5 都道府県	¥131,200	¥231,800
10 都道府県	¥234,700	¥415,300
20 都道府県	¥370,200	¥654,800
30 都道府県	¥455,200	¥789,800
40 都道府県	¥530,450	¥915,300
47 都道府県	¥578,400	¥1,000,000

※15 都道府県、27 都道府県等もございますのでお問い合わせください。　（税別）

●お問い合わせはこちらへ。
株式会社ズノー 入札王事務局　〒106-0044 東京都港区東麻布 1 丁目 5-2 ザイマックス東麻布ビル 2F　TEL：(03) 6441-0332 ／ FAX：(03) 6441-0336

「パリの調香師　しあわせの香りを探して」

嗅覚失った女性が香水業界で再起へ

貧乏な運転手との奇妙な関係

粋で洒落ている心地良い作品に

香水をあまり嗜（たしな）まない日本人でも、「シャネル5番」くらいは耳にした覚えがあるはずだ。フランスと言えば香水を思い浮かべるほど、フランス人と香水の結びつきは強い。その香水を作る専門家を調香師と呼ぶ。その中の1人の女性を描くのが『パリの調香師 しあわせの香りを探して』（2019年／グレゴリー・マーニュ監督・脚本、フランス、101分）である。

（中川洋吉・映画評論家）

「パリの調香師　しあわせの香りを探して」（アンヌ）
©LES FILMS VELVET - FRANCE 3 CINÉMA

本作の主人公アンヌ・ヴァルベルグ（エマニュエル・ドゥヴォス）は、一時は名を馳（は）せた、鋭い鼻を持つ調香師である。このアンヌの役柄設定が興味深い。彼女は、以前ディオールの花形調香師であったが、香水を扱うものの命たる鼻が利かなくなり、今はフリーの立場である。

においを嗅ぐ力、嗅覚感覚は大変微妙で、体調不良やストレスで利かなくなり、多くの人々が香水の現場から離れる経緯がある。再起を目指すアンヌは、エージェントの女性ジャンヌへ再度香水作りを訴えるが、一度失った調香師の座を取り戻すのは難しい。

◆人物の設定

本作の面白さは、香水業界という、誰もが一度はのぞいてみたい世界を背景とし、設定される2人の男女のぶつかり合いであり、これが作品に弾みをつけている。

まず、主人公のアンヌだが、彼女の役どころがユニークである。彼女は、決して愛想が良く、フェロモンを振りまくタイプではない。一見、不愛想で、お高い調香師をエマニュエル・ドゥヴォスが演じるが、やることがチグハグで、その反面、アッケラカンと成り行き任せのところが面白い。彼女は性格の強い役柄に本領を発揮する。

元売れっ子調香師のアンヌは、多分、パリ16区か8区の高級住宅街の住人で、独身者。人とはなるべく話をせず、ひたすら香水の世界に没頭するタイプ。超売れっ子だっただけに、豪華住宅に住み、移動はハイヤーとなかなかの生活ぶり。

運転手のギヨーム（グレゴリー・モンテル）は、どこにでも居そうな実直そうなサラリーマンタイプ。まるで異なる世界の2人の出会いである。この2人の、時にケンカを交えてのギクシャクぶりがおかしい。

冒頭、10歳ぐらいの女の子を連れた中年男が自販機を揺らしている。男はギヨーム。お金のない失業者で、娘にスナック菓子を買ってやれない。

所変わり、裁判所の一室。ギヨームと元妻との離婚法廷で、親権を巡る対立となっている。裁判所側は、ギヨームが住む25平方㍍の小さなアパートでは娘の養育は無理と、親権は母親側へ。

貧乏なハイヤー運転手の彼は、翌朝事務所に出頭し、何とかその日の配車をしてもらう。そして、訪れた仕事先がアンヌ宅であり、建物のベルを押し「マダム…さんのお宅ですか」と尋ねれば、「マドモアゼル」と冷たく返答される。フランスでは未婚の女性はマドモアゼル、既婚者はマダムと呼ぶが、相手の既婚の有無が分からない時は、マダムの尊称で呼ぶのが無難な作法である。

「マドモアゼル」と言い直され、室内のたくさんの荷物を下まで下ろすことを命じられる。居丈高なアンヌの態度にムッとしながら、荷物をトランクに積め込む。現われた本人は、荷物を後部座席に移すよう命じ、自分は助手席に座る。今まで見たことのないハイヤーの客だ。

出発すれば「ヴァージニアのにおいがする」と言い出し、たばこは「ウィンストン」と当てる。そして「自分は禁煙だから」と、タバコを窓から外にポイ捨て、すべてがお高い、のだ。ここでムッとするのを我慢し、1日目は終わる。

そりの合わぬアンヌ㊧とギヨーム

◆アルザス行き

もうアンヌにはウンザリのギヨームだが、驚いたことに翌日、またアンヌからのご指名。彼女は「仲直りの仕事よ」とシレッと言う。

行先は北部のアルザス。なぜか、別のタクシーも呼ばれている。そのタクシーに荷物を運びこみ駅へ行き、高速鉄道に乗り込む2人。ギヨームはこんなことも分かる。

◆突然の入院

仕事で疲れ果てたアンヌは、仕事帰りの車中で睡眠薬を服用し、仮眠をとる。しかし、仮眠どころではなく爆睡で、ギヨームは彼女を病院へ担ぎ込む。ギヨームは、初めはただの睡眠薬のオーバードーズ（過剰摂取）と考えたが、どうも臭覚と関係がありそうと、かつて彼女を診察した医師に連絡し意見を求める。

結果は彼の予想どおりで、医師は「対処を誤ると嗅覚障害の再発あり」との見立てで、急きょ入院。医学的には鼻と脳が連携することを止めてしまう症状があり、アンヌにとっては一大事だ。

治療に専念し、徐々に正常な嗅覚を取り戻し始め、再び調香師の道へ戻れるめどがつく。この1件以来、アンヌはギヨームに忠告されたように2語を身に着け、人間関係も良好となる。

ギヨームと娘

◆お仲間同士

2人の距離は急速に縮まるが、ここで結ばれたら凡庸なラブストーリーになるところだ。ここに作り手の知恵がある。2人はキスもせず、ファースト・ネームで呼び合わず、互いに励ますことも せずとも、一生の仲間、男友達、女友達として交遊を続ける予感をもたらす。この作りは粋だ。

アンヌ役のドゥヴォスは、ヌーヴェル・ヴァーグの後継者と言われるオリヴィエ・アサイアス作品のミューズである。今回は、口数が少なく、無愛想な女性の心の変わり様をうまく表現している。実直なギヨームと天才型のアンヌのコンビも生き生きしている。

このような男女の結び付きもありと思わず、味わいの作品に出来上がっている。粋で、シャレた、見て心地良い作品である。

〈文中敬称略〉

■『パリの調香師 しあわせの香りを探して』は1月15日より、Bunkamuraル・シネマ、ヒューマントラストシネマ有楽町で全国順次ロードショー

2021年の映像・情報通信主要行事　①

1月　January

デザインの企画展「人から生まれるカタチ Canon Design」
開催中ー1月23日／キヤノンデジタルハウス銀座（東京都中央区）
詳細＝https://cweb.canon.jp/showroom/personal/seminar/design/

TBSドラマ「ぽんぽこ物語」発掘・復元特別上映会
開催中ー2021年1月24日／放送ライブラリー（横浜市中区）
詳細＝https://www.bpcj.or.jp/

特別展「小説のなかのカメラ『谷中レトロカメラ店の謎日和』より」
開催中ー1月31日／日本カメラ博物館（東京都千代田区）
問い合わせ＝日本カメラ博物館 03-3263-7110

川本喜八郎＋岡本忠成 パペットアニメーショウ2020
開催中―3月28日まで／国立映画アーカイブ（東京都中央区）
詳細＝https://www.nfaj.go.jp/

中国映画の展開 ――サイレント期から第五世代まで
1月5ー31日／国立映画アーカイブ（東京都中央区）
詳細＝https://www.nfaj.go.jp/

CES2021
1月11ー14日／オンライン
詳細＝https://ces.tech/

オタリテック セミナー「IPネットワークソリューション」
1月13、14日／オンライン
詳細・申し込み＝https://otaritec.co.jp/news-release/event/

アビッドテクノロジー「Media Composer:GUIマスターウェビナー」
1月15日／オンライン
詳細・登録＝connect.avid.com/MediaCompsoerGUI_JP_Q121.html

キヤノン デザイン思考による製品化事例「カメラを学べるEOSのユーザーインターフェースデザイン」
1月15日／オンライン
詳細＝https://cweb.canon.jp/showroom/personal/seminar/design/

第8回 CRIオンラインセミナー「注目されるケーブルテレビによる新ビジネス-家庭のテレビでオンライン診療」
1月19日／オンライン
詳細＝https://www.cri-info.jp/20201225_6040.html

キヤノン コンセプトカメラのデザインストーリー「共感から生まれるカタチ」
1月19日／オンライン
詳細＝https://cweb.canon.jp/showroom/personal/seminar/design/

アニメ・ゲームサミット 2021 Winter
1月20ー22日／オンライン
出展申し込み＝https://bit.ly/2HnvFuT

第8回ATP上方番組大賞受賞式
1月26日／大阪
問い合わせ＝ATP事務局 03-6205-7858

Japan IT Week 関西
1月27ー29日／インテックス大阪(大阪市住之江区)
詳細・申し込み＝https://www.japan-it.jp/ja-jp.html

2月　February

第29回 3D&バーチャル リアリティ展
2月3―5日／幕張メッセ（千葉市美浜区）
詳細＝https://www.japan-mfg.jp/ ivr/

第13回恵比寿映像祭「映像の気持ち」
2月5―21日／東京都写真美術館（東京都目黒区）ほか
問い合わせ＝東京都写真美術館 03-3280-0099

東京アニメピッチグランプリ
2月18日／東京23区内
詳細・申し込み＝https://anime-tokyo.com/program/#grandprix

第8回 ライブ・エンターテイメント EXPO　第8回 イベント総合 EXPO
2月24―26日／幕張メッセ（千葉市美浜区）
詳細＝https://www.live-event.jp/、詳細＝https://www.eventexpo.jp/

CP＋（シーピープラス）2021
2月25―28日／オンライン
詳細＝http://www.cpplus.jp/

3月　March

ベルリン国際映画祭(映画業界者向け)
3月／オンライン
詳細＝https://www.berlinale.de/en/home.html

中部映像関連事業社協会 映像コンテスト
3月ー4月
詳細＝http://www.chueikyo.jp/

第26回 AMDアワード
3月3日／帝国ホテル（東京都千代田区）
問い合わせ＝デジタルメディア協会 03-6277-3618

ISLE 2021
3月3―6日／Wolrld Exhibition&Convention Center（中国・深?）
詳細＝http://isle-china.com/jp/h-default.html

第16回 大阪アジアン映画祭
3月5ー14日／ABCホール（大阪市福島区）ほか
詳細＝http://www.oaff.jp/

映像表現・芸術科学フォーラム2021
3月8日／オンライン
詳細＝https://www.ite.or.jp/contents/tech-group/ait/CFP_20210308.pdf

テレビクリエイターズフェス2022 東京
3月15日／東京およびオンライン
問い合わせ＝ATP事務局 03-6205-7858

日本映画ペンクラブ賞 授賞式、日本映画ペンクラブ会員選出ベスト賞 授賞式
3月17日／マリオネットコートヤード銀座 東武ホテル(東京都、中央区)
問い合わせ＝日本映画ペンクラブ 03-3573-8270

第44回日本アカデミー賞授賞式
3月19日／グランドプリンスホテル新高輪（東京都港区）
詳細＝https://www.japan-academy-prize.jp/

この予定表は2021年に予定されている主な行事です。 主催者の都合により日程変更、参加資格・定員の制限などがありますので、参加希望の際は主催者にあらかじめ確認してください。

※掲載された内容の一部または全文を許可なく転載することを禁じます。

2021年の映像・情報通信主要行事　②

3月　March

テレビクリエイターズフェス2022 大阪
3月28日／大阪およびオンライン
問い合わせ＝ATP事務局 03-6205-7858

4月　April

第5回 AI・人工知能 EXPO【春】
4月7―9日／東京ビッグサイト(東京都江東区)
詳細＝https://www.ai-expo.jp/ja-jp.html

CMT(Connected Media Tokyo)2021-DSJ(デジタルサイネージ ジャパン)2021／Interop Tokyo
4月14―16日／幕張メッセ(千葉市美浜区)
詳細＝https://www.f2ff.jp/dsj/、https://www.interop.jp/

コンテンツ東京 2021
4月14―16日／東京ビッグサイト(東京都江東区)
詳細＝https://www.content-tokyo.jp/ja-jp.html

Japan IT Week 春
4月26－28日／東京ビッグサイト(東京都江東区)
詳細・申し込み＝https://www.japan-it.jp/ja-jp.html

第52回照明まつり(技術賞授賞式および機材展示)
4月末日
問い合わせ＝日本映画テレビ照明協会 03-5909-3396

5月　May

中部映像関連事業社協会 映像コンテスト表彰式
5月中旬
詳細＝http://www.chueikyo.jp/

第74回カンヌ国際映画祭
5月11－22日／フランス・カンヌ
詳細＝http://www.festival-cannes.com/en/

KOBA 2021
5月11－13日／COEX(韓国・ソウル)
詳細＝http://www.kobashow.com/

interOpto(インターオプト)
5月26－28日／東京ビッグサイト(東京都江東区)
詳細・申し込み＝https://www.optojapan.jp/aap/ja/info_exhibitor_2021-5.html

6月　June

第58回ギャラクシー賞 贈賞式
6月初旬
問い合わせ＝放送批評懇談会 03-5379-5521

東北映像フェスティバル2021 映像機器展・映像コンテスト
6月3、4日／仙台国際センター(仙台市青葉区)
問い合わせ＝東北映像製作者協会 022-221-5281

ケーブルコンベンション／ケーブル技術ショー2021
6月3、4日／国際フォーラム(東京都千代田区)、オンライン(14日から)
詳細＝https://www.catv-f.com/

JPPA AWARDS 2021 贈賞式
6月4日／ザ ストリングス 表参道(東京都港区)
問い合わせ＝日本ポストプロダクション協会 03-3355-6420

第23回 映像音響処理技術者資格認定試験
6月6日／全国40カ所
問い合わせ＝日本ポストプロダクション協会 資格認定制度事務局 03-3355-6587

ジャパン・ドローン 2021
6月14－16日／幕張メッセ(千葉市美浜区)
詳細＝https://ssl.japan-drone.com/

九州放送機器展2021(QBE)
6月16、17日／福岡国際センター(福岡市博多区)
問い合わせ＝九州放送機器展2021

この予定表は2021年に予定されている主な行事です。 主催者の都合により日程変更、参加資格・定員の制限などがありますので、参加希望の際は主催者にあらかじめ確認してください。

※掲載された内容の一部または全文を許可なく転載することを禁じます。

「情報」がビジネスを熱くする。

映像新聞は、放送やブロードバンド、デジタルコンテンツプロダクション、映像制作者など映像業界へ向け、ビジネスとテクノロジーの両視点で情報を発信している専門紙です。映像のデジタル化は、デジタル放送やデジタルシネマといった新しい文化を創り、ブロードバンドにより新しいコミュニケーションを発達させました。映像新聞は、これらの動きをいち早く伝え、新鮮な情報をお届けいたします。
ビジネスを熱くするメディア……それが「映像新聞」です。

映像新聞

毎週月曜日、月4回発行(年間48回発行)
基本ページ数
16-20ページ／タブロイド判

年間購読料: 27,300円

海外での購読の場合は、消費税分を除いた料金に別途送料がかかります。 詳しくはお問い合わせ下さい。

ウェブサイトからもお申し込みいただけます
www.eizoshimbun.com

短期購読および複数購読のご案内

●短期購読の場合
◎3カ月購読の場合:7,560円(1部600円×12回+消費税)
◎6カ月購読の場合:14,400円(1部600円×24回／消費税分サービス)

●複数購読の場合(年間購読契約のみ)
対象となる購読者(以下の3つの条件をすべてを満たすこと)
◎送付先が同一であること
◎請求先が同一であること(送付先とは別でも可)
◎購読契約期間(契約更新月)が同一であること
※料金(申し込み部数により料金を割引きます)
・2–5部は10%割引き　(1部、年間24,570円・消費税込)
・6–9部は20%割引き　(1部、年間21,840円・消費税込)
・10部以上は30%割引き(1部、年間19,110円・消費税込)

●ご購読のお申込み・お問い合わせはこちらへ。　映像新聞社　〒112-0006　東京都文京区小日向1-24-8エイゾ–ビル TEL 03-3942-2161　FAX 03-3942-2581 e-mail:info@eizoshimbun.com

2021年の映像・情報通信主要行事　③

6月　June

Mobile World Congress(NWC)
6月28日ー7月1日／スペイン・バルセロナ
詳細＝https://www.mwcbarcelona.com/

第6回 関西放送機器展
6月30日、7月1日／大阪南港ATCホール（大阪市住之江区）
詳細＝https://www.tv-osaka.co.jp/kbe/

ベルリン国際映画祭(公開イベント)
6月
詳細＝https://www.berlinale.de/en/home.html

7月　July

Japan IT Week 名古屋
7月28ー30日／ポートメッセなごや(名古屋市港区)
詳細・申し込み＝https://www.japan-it.jp/ja-jp.html

第37回ATP賞テレビグランプリ授賞式
7月／東京
問い合わせ＝ATP事務局 03-6205-7858

8月　August

SIGGRAPH 2021
8月1ー5日／オンライン
詳細＝https://s2021.siggraph.org/

全映協グランプリ2021
8月ー9月／
問い合わせ＝全映協 052-933-5131

9月　September

IFA 2021 （国際コンシューマ・エレクトロニクス展）
9月3ー7日／ドイツ・ベルリン
詳細＝https://www.phileweb.com/ifa/

IBCショーケース
9月10ー13日／オランダ・アムステルダム
詳細＝https://www.ibc.org/ibcshowcase

10月　October

NAB Show 2021
10月9ー13日／米国・ラスベガス
詳細＝https://www.nabshow.com/

Japan IT Week 秋(4K・8K映像技術展、映像伝送EXPOほか)
10月27ー29日／幕張メッセ(千葉市美浜区)
詳細・申し込み＝https://www.japan-it.jp/ja-jp.html

山形国際ドキュメンタリー映画祭2021
10月7ー14日／山形中央公民館（山形県山形市）ほか
問い合わせ＝NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭 023-666-4480

国際アニメーション・デー 2021
10月28日およびその前後／京都ほか
問い合わせ＝ASIFA-JAPAN／国際アニメーションフィルム協会日本支部 03-3585-0696

11月　November

MPAセミナー
11月初旬／六本木ヒルズ オードトリアム（東京都港区）
問い合わせ＝日本国際映画著作権協会 03-3265-1401

Inter BEE 2021
11月17ー19日／幕張メッセ（千葉市美浜区）
問い合わせ＝日本エレクトロニクスショー協会 03-6212-5231

MPA-TIFFcom・DHUマスター＆ピッチングコンテスト
11月初旬／未定
問い合わせ＝日本国際映画著作権協会 03-3265-1401

全映協グランプリ2021 表彰式
11月中旬
問い合わせ＝全映協 052-933-5131

Tokyo Docs 2021
11月／未定
問い合わせ＝Tokyo Docs事務局 03-6205-7858

12月　December

第66回「映画の日」中央大会
12月1日／グランドプリンスホテル高輪（東京都港区）
問い合わせ＝映画産業団体連合会 03-3243-5585

SIGGRAPH Asia 2021
12月14ー17日／東京国際フォーラム
詳細＝https://sa2020.siggraph.org/en/about-us/siggraph-asia-2021

教育映像祭 中央大会
第25回視聴覚教育総合全国大会 第72回放送教育研究会全国大会
月日／未定
問い合わせ＝視聴覚教育総合全国大会 連絡協議会 03-3431-2186

この予定表は2021年に予定されている主な行事です。 主催者の都合により日程変更、参加資格・定員の制限などがありますので、参加希望の際は主催者にあらかじめ確認してください。

※掲載された内容の一部または全文を許可なく転載することを禁じます。

映像新聞 縮刷版

2020年前期版（1月～6月）

半年分の映像新聞を1冊にまとめた「2020年前期縮刷版」が発行となりました。めまぐるしく変化する映像業界の動向を集約する「映像新聞縮刷版」は、目次には、ジャンルごとに項目を掲載し、業界の動向が簡単に索引できるようになっております。企業のビジネス戦略において、貴重な情報ツールとして、また、保存版の映像新聞として広くご利用いただいております。

仕様：A4判／価格：7,000円（税別、送料別途）

ご購入は映像新聞ウェブサイトからお申し込みいただけます　www.eizoshimbun.com
アマゾン（www.amazon.co.jp）、富士山マガジンサービス（www.fujisan.co.jp）からもご購入いただけます

●ご購読のお申込み・お問い合わせはこちらへ
株式会社映像新聞社　〒112-0006　東京都文京区小日向1-24-8エイゾービル／TEL：03-3942-2161／FAX 03-3942-2581　e-mail：info@eizoshimbun.com

CRIが19日にウェビナー

CATV活用したオンライン診療

J:COMが実証実験の概要報告

ケーブルテレビ情報センター（CRI）は、第8回CRIオンラインセミナー「注目されるケーブルテレビの新ビジネス―家庭のテレビでオンライン診療!!」を1月19日に開く。

厚生労働省は2020年4月10日から、新型コロナウイルスの感染対策のためオンライン診療の規制緩和を実施した。オンライン診療とは、医師がスマートフォンなどの情報通信機器を使って離れた場所にいる患者の診察・診断、薬の処方などの診療行為をするもので、15年にスタートし、18年4月から保険適用となっている。

従来のオンライン診療の対象者は「慢性疾患患者」などの再診のみを対象としていたが、昨年4月からは対象疾患を問わず、初診まで拡大することになった。

そうした中、ジュピターテレコム（J：COM）では、CATVのインフラを活用したオンライン診療の実証実験を19年度に実施。家庭のテレビ画面で診療が受けられるシステムを自社開発して、医療機関向けシステムを提供する医療系ベンチャー企業と提携し、福岡市と東京都内において実際に患者の診療で使用した。

J：COMが開発した遠隔医療システム（オンライン診療アプリ）と、国内の主要オンライン診療サービス事業者のシステムを連携することで、患者宅のテレビ画面上でのビデオ通話による診察や服薬指導、医療機関の予約や問診などを実現した。

そこで今回のセミナーでは、J：COMイノベーション推進本部長の櫻井俊一氏を講師に迎え、オンライン診療の現状（政府・事業者対応）や実証実験の概要（実験映像）などについて聞く。

なお、参加者からの質問を事前に集め、当日解説してもらう。

【日時】1月19日／13時30分―15時

【受講方法】Zoom

【参加費】CRI会員＝3000円、非会員＝6000円

【申し込み】www.cri-info.jp/conference.html

東京都が参加者募集

東京アニメピッチグランプリを開く

東京都は、海外へのビジネス展開を志す都内のアニメーション制作会社などを対象に、ピッチに挑戦する機会としてピッチコンテスト「東京アニメピッチグランプリ」を2月18日に開催する。

「東京アニメピッチグランプリ」に出場して入賞すると、最大100万円の賞金や海外見本市「MIFA」（フランス・アヌシー）への出展権獲得に加え、英語でのピッチング・商談指導など、都から海外展開に向けたサポートが得られる。

会場は、東京都23区内を予定。応募書類提出期間は1月12―22日。

【申し込み・詳細】anime-tokyo.com/program/#grandprix

国立映画アーカイブ

「中国映画」の上映企画

名作・代表作をそろえる

国立映画アーカイブは、上映企画「中国映画の展開―サイレント期から第五世代まで」を1月5―31日に実施する。

市場開放と経済成長により、今や北米と肩を並べる世界有数の市場規模となった中国映画。しかし20世紀におけるその道のりは、戦争と革命に揺れ動き続けた中国社会の歩みと同様、決して平坦なものではなかった。

この企画は、中国電影資料館との共同により、サイレント期から「第五世代」までの中国映画の名作や代表作を上映し、その歴史を回顧する。

上海アニメーション作品や舞台劇映画といった独特のジャンルも交えながら、計29作品（24プログラム）を上映する。会期中には、サイレント映画のピアノ伴奏付き上映も予定している。

なお、会期中の月曜日は休館日となっている。

【会場】長瀬記念ホールOZU（東京都中央区京橋3―7―6 国立映画アーカイブ2階）

【定員】310人（各回入れ替え制・全席指定席―前売あり／伴奏付き上映の日は301人）

【詳細】www.nfaj.go.jp/exhibition/chinesecinema202012

日本映画撮影監督協会

三浦賞・JSC賞発表

5日に授賞式を開く

日本映画撮影監督協会（JSC）は、撮影新人賞の第64回「三浦賞」と第29回「JSC賞」を発表した。

三浦賞は『ミッドナイトスワン』（内田英二監督、アットムービー製作）の伊藤麻樹氏が受賞。「JSC賞」は『餅ばあちゃんの物語』（伊藤麻衣監督。NHK製作）に決定した。

「三浦賞」は1956年に制定され、名撮影監督であった故三浦光雄氏の優れた功績を記念するとともに、同氏が新人育成に注がれた情熱を継承して、優れた撮影技術を示した劇場用映画の新人撮影監督を顕彰するもの。

「JSC賞」は、劇場用映画以外の映像作品で、豊かな感性と技術成果を上げた撮影監督を候補として、社会的貢献度や業績をもとに受賞者を選定している。

なお、今回の受賞者は、1月5日に東京都調布市の文化会館たづくりで開かれる「三浦賞／JSC賞授賞式」の会場で表彰される。

イベント

デジタルコンテンツ協会（DCAJ）は、昨年11月18―20日に実施した「DCEXPO 2020 ONLINE」のコンファレンス動画を、2月16日までアーカイブ公開している

【コンファレンス動画サイト】www.dcexpo.jp/online-conference

ドイツメッセ日本代表部の閉鎖発表

日本能率協会

日本能率協会は、2020年12月末をもってドイツメッセ日本代表部を閉鎖した。今後、ドイツメッセ主催の各展示会に関しては、直接現地に問い合わせることになる。

人事

◇ハートネットワーク（愛媛県新居浜市／2020年12月25日付）

▽代表取締役会長 大橋弘明（前・代表取締役社長）▽代表取締役社長 伊藤直人（前・代表取締役専務）

移転

◇ヒビノビジュアル Div.（東京）（1月18日付）

［新所在地］東京都港区海岸2―7―70 ヒビノ日の出ビル8階／☎03―5419―1611／ファクス03―5419―1612

大型ディスプレイ＆デジタルサイネージ総覧

2020年版販売中

本書は、大型映像およびデジタルサイネージに関する最新動向について、サイネージ関連団体、メーカー、サービス会社等の協力を得ながら多角的な側面から、市場動向について報告した書籍です。執筆陣には、各種関連団体の代表者をはじめ、関連メディアで活躍する記者が参加。映像新聞の大型映像、デジタルサイネージの記事を担当する川田宏之も「大型ディスプレイ&デジタルサイネージ総覧2020 編集長」として編集を担当するとともに、取材記事を寄稿しており、業界の最新情報をお伝えしています。

●主な内容【特別寄稿】　高度映像・情報技術と今後の市場 【本編】　第1章 大型ディスプレイの最新市場・動向／第2章 大型ディスプレイ&サイネージの最新技術動向／第3章 デジタルサイネージの最新動向／第4章 大型ディスプレイ&デジタルサイネージ関連団体の取り組み

ご注文：下記に必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。請求書は商品と一緒に郵送いたします。

大型ディスプレイ＆デジタルサイネージ総覧2020 申込書

貴社名	
〒 ご住所	
TEL	FAX
所属部署・お役職名 ご芳名	部数　部

大型ディスプレイ＆デジタルサイネージ総覧2020

◆体　裁：A4版 190頁

◆頒　価：¥9,200(¥10,120消費税込み)

◆発行：株式会社日本・社会システムラボラトリー

◆販売：株式会社 映像新聞社

ご購入は映像新聞ウェブサイト、および、amazonからもご購入いただけます。
映像新聞：www.eizoshimbun.com
amazon：amazon.co.jp
※検索で「大型ディスプレイ＆デジタルサイネージ総覧」と入力してください。

Panasonic
BUSINESS
TOKYO 2020
TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES
Worldwide Partner
KAIROS
Incredible Productivity
アイデアが織りなす無限の可能性。
「撮る」「創る」「映す」をIT/IPで繋ぐ
次世代のライブ映像制作プラットフォーム
パナソニックが提案する「KAIROS（ケイロス）」は、独自のソフトウェア開発によりCPUおよびGPUで映像処理を行う、新しいコンセプトのライブ映像制作プラットフォームです。多彩な映像表現を低遅延で実現。直観的で使いやすいGUIとレイアウトを自由にカスタマイズできるコントロールパネルによる優れた操作性。クリエーターの創造性を解き放つ自由なオペレーションを可能にしました。オープンアーキテクチャーで開発された新スタンダード「KAIROS（ケイロス）」。映像制作の未来にイノベーションをもたらします。
SHOOTING 撮る
COMPOSITION 創る
VISUALIZATION 映す
Cameras
8K ROI Cameras
PTZ Cameras
Video, PPT
Sound
Lighting
Robotics
KAIROS
•Switching
•Multi Stream
•Scaling
•Screen Management
Slow-Motion
Media Servers
Graphics
LED Video Walls
Projectors
Displays
Speakers
Broadcasting
Streaming
https://panasonic.biz/cns/sav/products/it_ip_platform/
製品の詳細情報・お問合せは製品情報をご覧ください。
A Better Life, A Better World